記者発表資料

平成２２年度
東北地方整備局の事業概要

平成２２年３月２６日

東 北 地 方 整 備 局

＜発表記者会：宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会＞

問い合わせ先

国土交通省　東北地方整備局　TEL　022-225-2171（代）

総　　括	企画部　企画課長	依田（よだ）　秀則（ひでのり）	（内線 3151）
都市・住宅関係	建政部　都市・住宅整備課長補佐	宮川（みやかわ）　浩幸（ひろゆき）	（内線 6162）
河川関係	河川部　河川計画課長	若公（わこう）　崇敏（たかとし）	（内線 3611）
道路関係	道路部　道路計画第一課長	寺沢（てらさわ）　直樹（なおき）	（内線 4211）
港湾空港関係	港湾空港部　港湾計画課長	笠原（かさはら）　薫（かおる）	（内線 6311）
営繕関係	営繕部　計画課長	頼本（よりもと）　欣昌（よしまさ）	（内線 5151）
用地関係	用地部　用地企画課長	深澤（ふかさわ）　和晃（かずあき）	（内線 4751）
会計関係	総務部　会計課長	宮内（みやうち）　善男（よしお）	（内線 2411）

目　　次

１．　事業実施方針　・・・Ｐ１

２．　予算概要　・・・Ｐ３

３．　主要な話題　・・・Ｐ５

４．　県別主要事業

　(1)　青森県　・・・Ｐ２２

　(2)　岩手県　・・・Ｐ２６

　(3)　宮城県　・・・Ｐ２９

　(4)　秋田県　・・・Ｐ３４

　(5)　山形県　・・・Ｐ３８

　(6)　福島県　・・・Ｐ４２

５．　代表事業位置図　・・・Ｐ４６

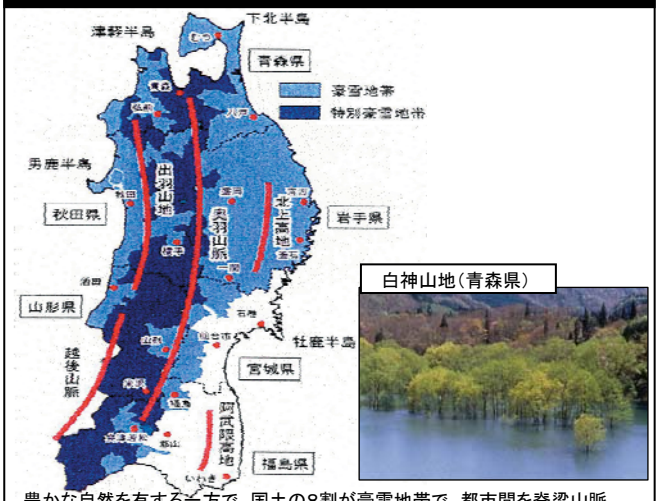
６．　事業評価の実施　・・・Ｐ４９

1. 事業実施方針

東北地方整備局は、東北地方の今後取り組むべき課題を踏まえ、**目指すべき将来の姿のために、計画的かつ着実な社会資本整備を進めます。**

東北地方の現状

豊かな自然を有する一方で、厳しい地形・気象条件にある東北地方



豊かな自然を有する一方で、国土の8割が豪雪地帯で、都市間を脊梁山脈に阻まれている状況

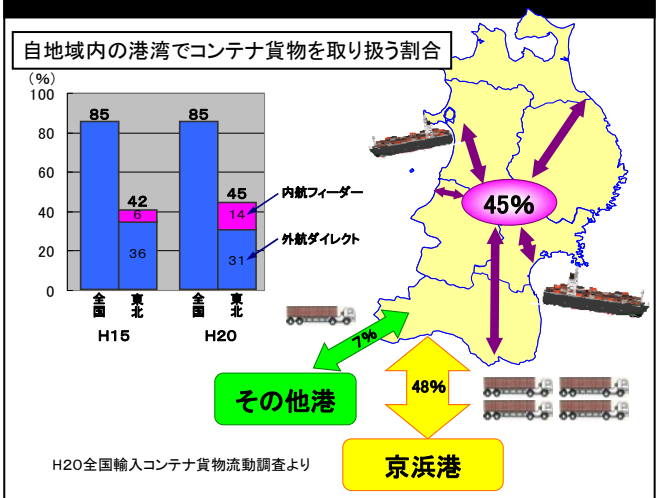
高速道路ネットワークにミッシングリンクが多数存在する東北地方

高規格道路	（供用・未供用）
地域高規格道路等	（供用・未供用）
新幹線	（供用・未供用）
特定重要港湾	
重要港湾	
拠点空港（国管理空港）	
拠点空港（特定地方管理空港）	
地方管理空港	
共用空港	

（平成22年3月末現在）

三陸道や日沿道等、高速道路ネットワークにミッシングリンクが多数存在し、港湾・空港等と連携した安定した交通基盤整備ができていない状況

グローバル化が遅れている東北地方



H20全国輸入コンテナ貨物流動調査より

コンテナ貨物の自地域港湾利用率は、全国に比べて大幅に低く、物流機能を他地域に依存している状況

多発する自然災害と隣り合わせの東北地方

H19.9豪雨水害（秋田県）

H20.6岩手宮城内陸地震で被災した橋梁（岩手県）

30年以内の発生確率99%の宮城県沖地震等、自然災害と隣り合わせの状況

今後取り組むべき課題

など

広大な国土、脊梁山脈、豪雪地帯の克服	自然災害に対する安全・安心の確保
産業の活性化、競争力ある産業の振興	都市と農山漁村の共生
国際交流・連携の強化	豊かな自然を活かした地域形成

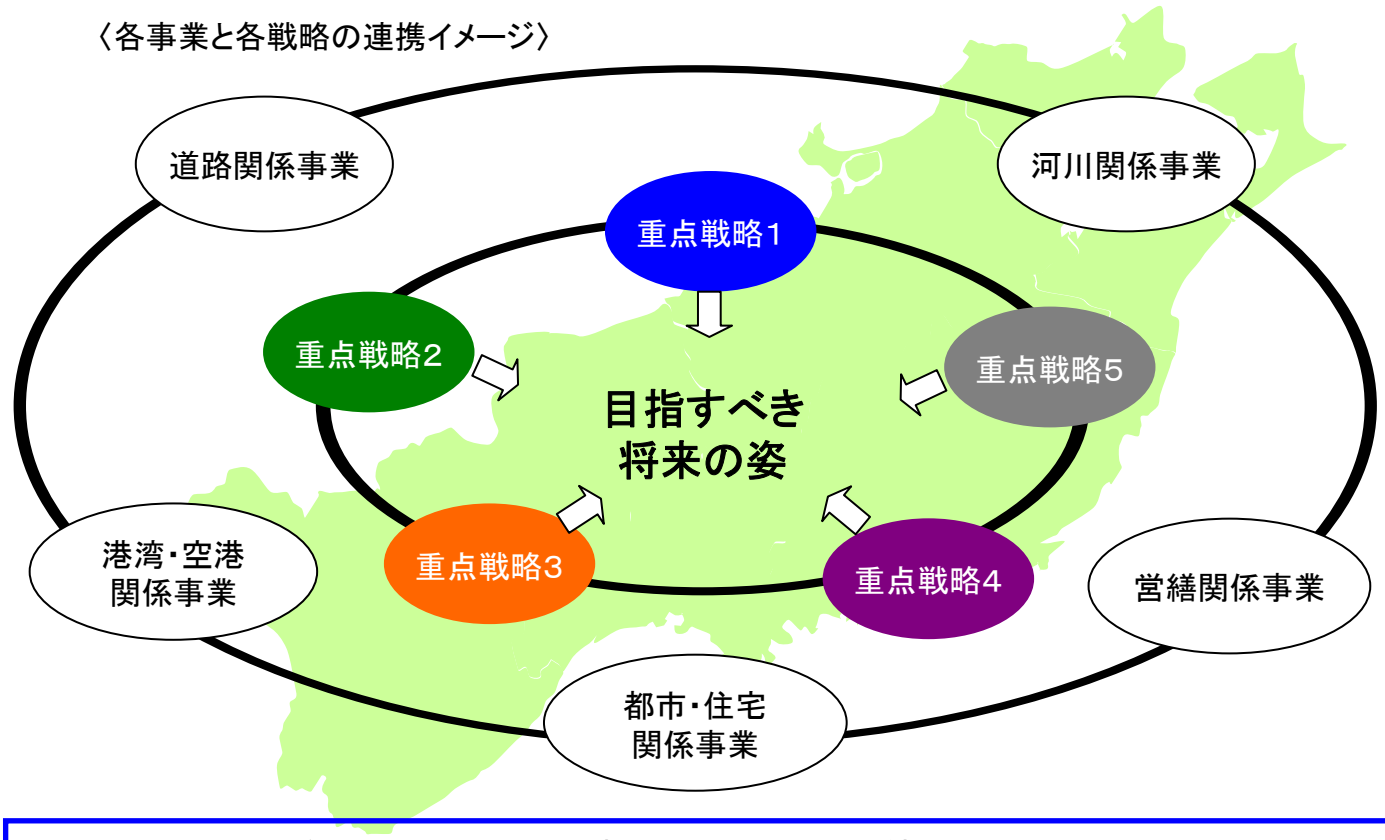
今後取り組むべき課題を踏まえ、東北地方が目指すべき将来の姿は

『優れたポテンシャルを活かしながら、人・物・情報の国内外との交流・連携を深め、低炭素社会の構築などの新たな時代の潮流に対応・貢献できる多様で自立した地域』

目指すべき将来の姿のため

5つの重点戦略を掲げ、社会資本整備を進めます。

〈各事業と各戦略の連携イメージ〉



重点戦略1．地域の資源、特性を活かした産業による自立的・持続的な地域の実現
（格子状骨格道路や港湾整備、賑わいや交流の拠点整備等）

重点戦略2．交流・連携機能の強化による世界に開かれた地域の実現
（国際物流基幹ネットワーク形成に対応した道路整備、港湾の物流機能強化等）

重点戦略3．雪にも強く安全で安心して暮らせる温もりのある人に優しい地域の実現
（災害から暮らしを守るための河川改修や津波対策、東北発コンパクトシティに向けた基盤整備、雪対策、社会資本の長寿命化等）

重点戦略4．恵み豊かな自然と共生する環境先進地域の実現
（リサイクルポート整備、良好な景観形成、水環境対策等）

重点戦略5．東北の人々が一体となって地域を考え行動する地域の実現
（多様な主体と協働で取り組む公共施設の維持管理等）

２．予算概要

○東北地方整備局の配分額　5,830 億円（対前年度比 0.776）

・直　轄　2,464 億円（対前年度比 0.803）

・補　助　3,366 億円（対前年度比 0.757）

うち社会資本整備総合交付金 3,022 億円

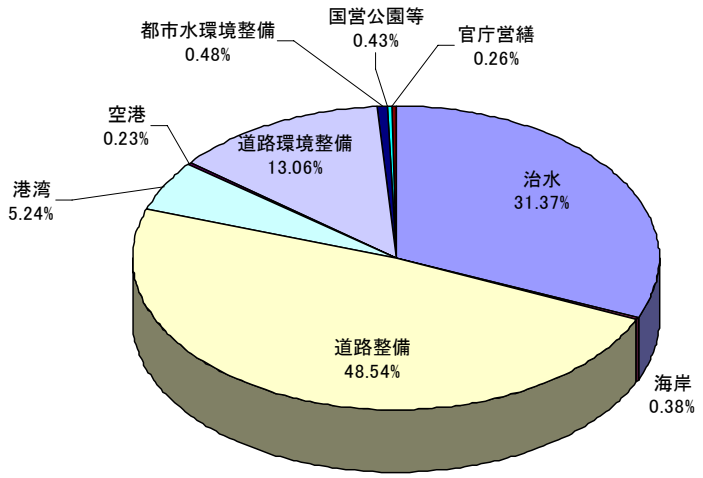
平成22年度　東北地方整備局予算　事業別配分額

（単位：百万円）

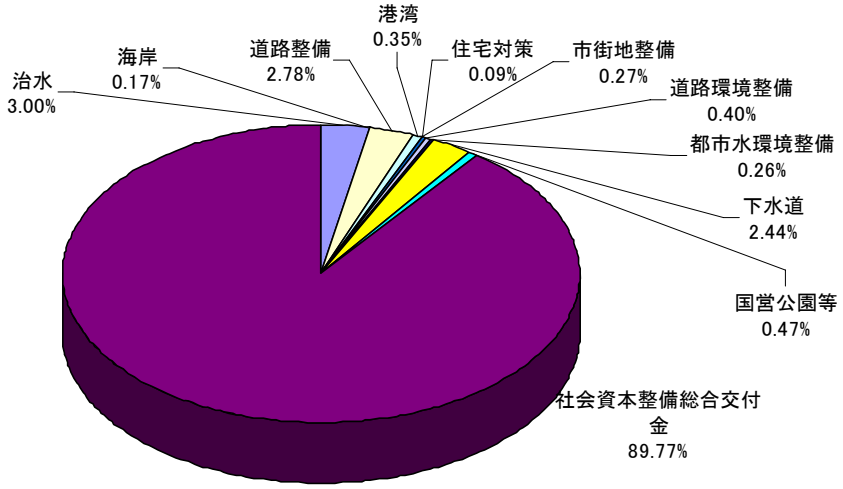
区分	直轄			補助			総額		
	22年度	21年度	倍率	22年度	21年度	倍率	22年度	21年度	倍率
治水	77,311	88,708	0.872	10,095	39,229	0.257	87,406	127,937	0.683
海岸	942	899	1.048	576	3,671	0.157	1,518	4,570	0.332
道路整備	119,608	142,423	0.840	9,370	22,806	0.411	128,978	165,229	0.781
港湾	12,910	19,842	0.651	1,178	5,695	0.207	14,088	25,537	0.552
空港	575	491	1.171	—	—	—	575	491	1.171
住宅対策	—	—	—	300	30,758	0.010	300	30,758	0.010
市街地整備	—	—	—	912	69,416	0.013	912	69,416	0.013
道路環境整備	32,187	47,561	0.677	1,340	15,882	0.084	33,527	63,443	0.528
都市水環境整備	1,193	1,485	0.803	878	2,222	0.395	2,071	3,707	0.559
地域活力基盤整備	—	—	—	—	163,207	—	—	163,207	—
下水道	—	—	—	8,211	84,540	0.097	8,211	84,540	0.097
国営公園等	1,049	1,100	0.954	1,570	7,527	0.209	2,619	8,627	0.304
社会資本整備総合交付金	—	—	—	302,197	—	—	302,197	—	—
官庁営繕	643	4,266	0.151	—	—	—	643	4,266	0.151
合計	246,418	306,775	0.803	336,627	444,953	0.757	583,045	751,728	0.776

※1. 直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載
※2. 社会資本整備総合交付金に係る新規計画分を含まない

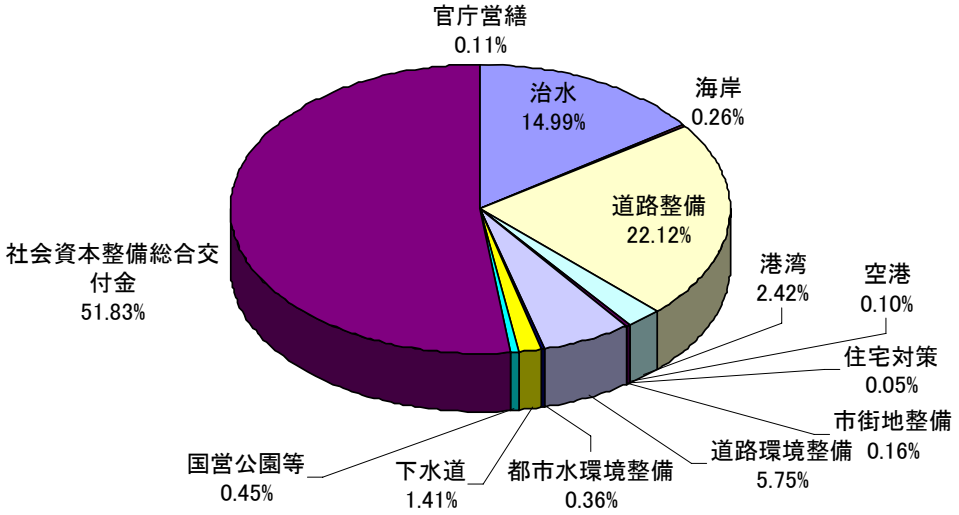
○直轄事業 2,464 億円に占める各事業の割合



○補助事業 3,366 億円に占める各事業の割合



○総額 5,830 億円に占める各事業の割合



3. 主要な話題

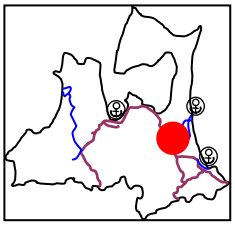
重点戦略1

話題1 （青森県）

○国道4号七戸バイパス（延長5.7km）が全線暫定2車線で供用。
○七戸町内を貫く現道を迂回し、渋滞の解消等に期待。

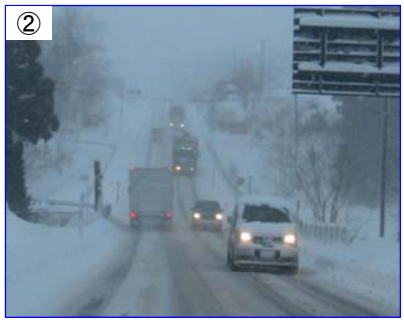
［十和田市～上北郡七戸町］ **国道4号 七戸バイパス** （H1～H22（全線暫定2車線供用））

・東北新幹線七戸十和田駅へのアクセス道路として、また、七戸町内の交通混雑緩和、沿道環境の改善のため、市街地部の隘路区間を迂回するバイパスを整備し、広域的な交流促進と走行性向上によるCo2削減が期待されます。
・H22年度工事関係費：500百万円
・H22年度は、全線暫定2車線供用に向けて改良、舗装工事等を実施します。

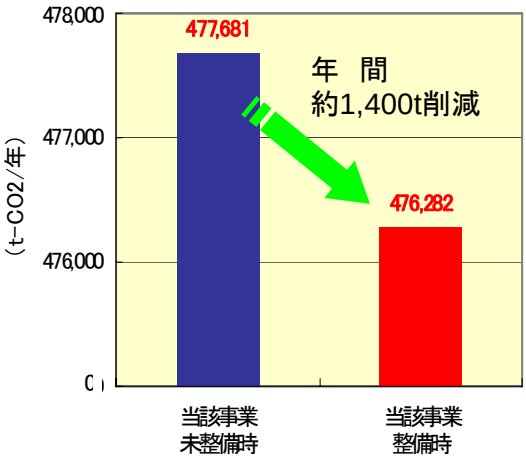


▲整備が進む七戸バイパス
（起点（十和田市大字大沢田地内））

▲市街地部の交通混雑状況



▲現道の縦断不良箇所
（勾配6% 延長550m）



▲七戸バイパス整備による
Co2削減量

重点戦略1　重点戦略3

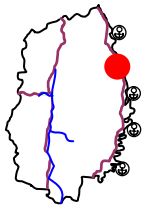
話題2 （岩手県）

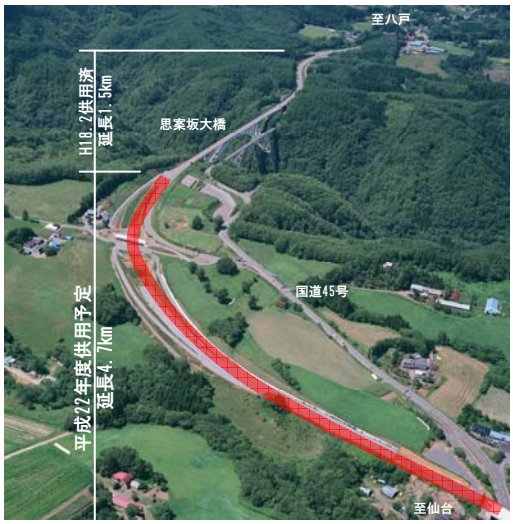
○国道45号中野バイパス（延長6.2km）が全線完成2車線で供用。
○「中野坂」などの交通の難所を回避し、救急医療や緊急物資輸送活動を支援。

［下閉伊郡岩泉町～下閉伊郡田野畑村］ **国道45号　中野バイパス**

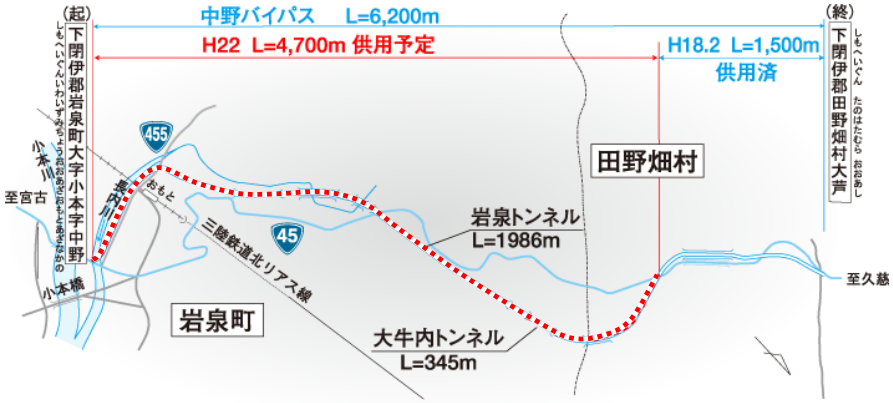
（S61～H22（全線完成2車線供用））

・岩泉町小本地区の線形不良箇所など交通の難所を回避するためバイパスを整備し、救急搬送や緊急物資輸送時の安心・安定した走行が確保されます。
・H22年度工事関係費：1，300百万円
・H22年度は、全線完成2車線供用に向けて、トンネル管理設備、舗装工事等を実施します。



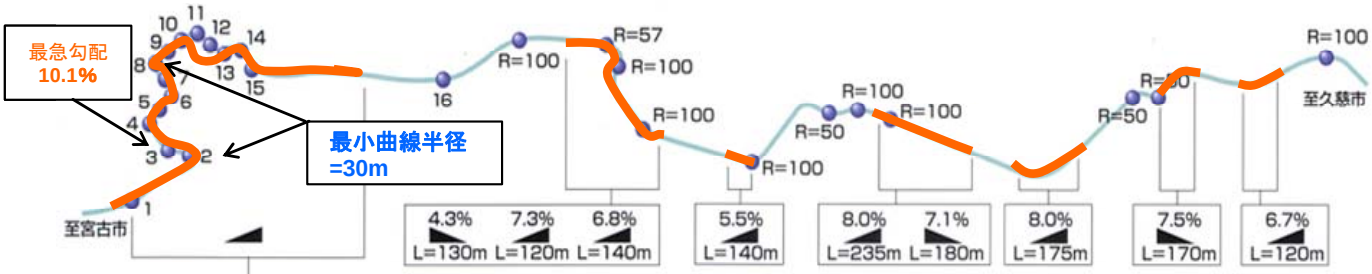


▲整備が進む中野バイパス（田野畑村南大芦）



▼交通の難所「中野坂」の隘路箇所数
・急カーブ箇所（R≦100m）⇒２７箇所解消
・急勾配箇所　（I≧5.0%）⇒３．４km解消

【並行する国道45号の現況】 R=100m以下　急カーブ27箇所



勾配率(%)	6.4	6.9	10.1	5.4	7.2	9.4	10.0	9.8	6.0	10.0	7.5	9.0	9.3	8.2	6.4	7.7	合計
延長(m)	100	110	105	125	60	84	75	95	56	394	75	178	42	140	50	410	2,099

No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
曲線半径(m)	100	30	30	50	50	31	50	30	100	60	35	40	35	100	45	100

●幅員　7.5m（橋梁6.0m）
●最小曲線半径（Rmin=30m）
●最急勾配（Imax=10%）

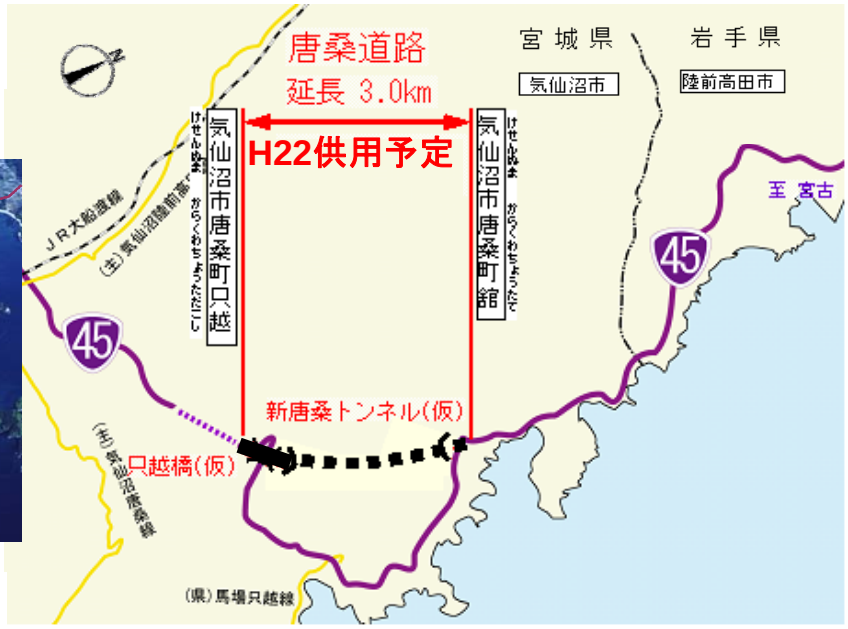
重点戦略1　重点戦略3

話題3 （宮城県）

○国道45号唐桑道路（延長3.0km）が全線暫定2車線で供用。
○現道の急カーブを回避し、安全・安心な走行環境を実現するとともに移動時間が短縮。

［気仙沼市］ 国道45号　唐桑道路 （H14～H22（全線暫定2車線供用））

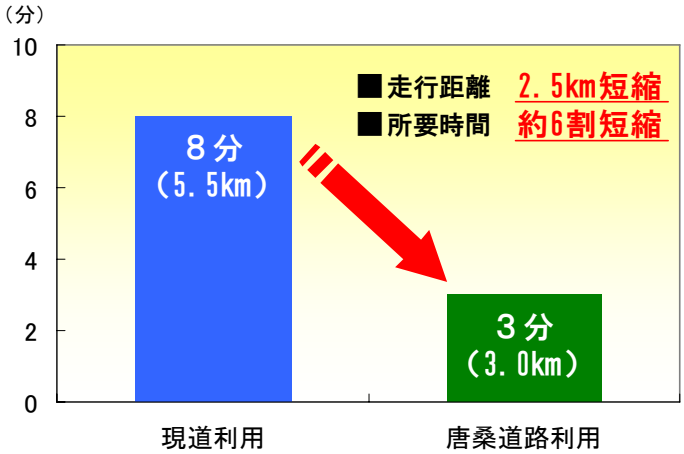
・人流・物流ネットワーク構築のため、格子状骨格道路を整備し、移動時間の短縮と線形不良、隘路区間が解消されます。
・H22年度工事関係費：1，700百万円
・H22年度は、全線暫定2車線供用に向けてトンネル管理設備、舗装工事等を実施します。



唐桑道路と平行する国道45号の
・線形不良（急カーブ）数　9箇所
・隘路区間（急勾配5%以上）約1.3km

▲急カーブでの事故

唐桑道路と並行する国道45号では
8.4件/年の交通事故が発生！



▲唐桑道路の供用に伴う所要時間の変化

重点戦略1　重点戦略4

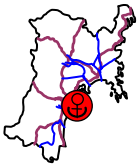
話題4 （宮城県）

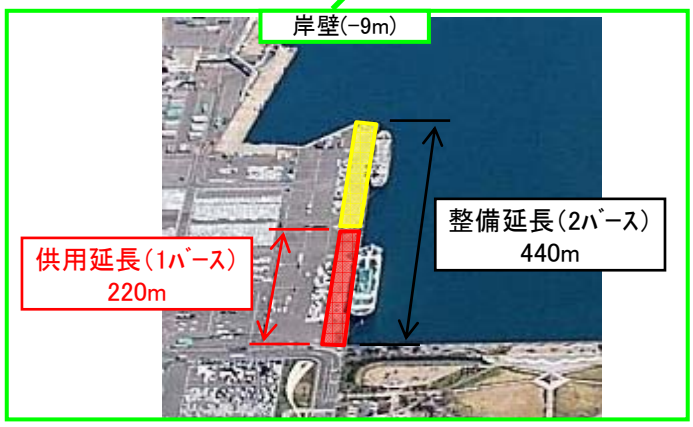
仙台塩釜港仙台港区中野地区の複合一貫輸送ターミナル2バースのうち1バースが供用。東北における自動車産業の拠点化へ対応。

［仙台市）］仙台塩釜港仙台港区中野地区（せんだいしおがま）（なかの）
複合一貫輸送ターミナル改良（耐震）事業 （H21～H26）

・複合一貫輸送ターミナル改良（増深および一部耐震化）によって、東北における自動車産業の拠点化に伴い増加する完成自動車等の効率的な輸送を可能にします。
・H22年度工事関係費：1,442百万円
・H22年度は、岸壁改良工、浚渫工を実施します。

※複合一貫輸送ターミナル
自動車やトラックがそのまま乗り込むことのできる船（フェリーやRORO船）が主に利用するターミナル。





話題5 （秋田県）

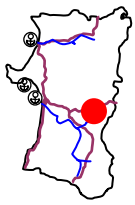
重点戦略1

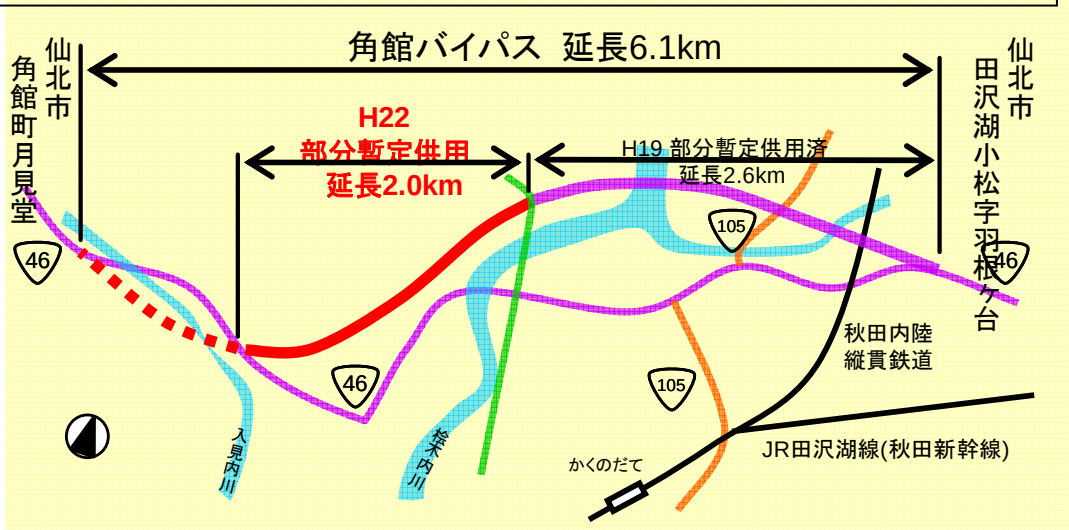
○国道46号角館バイパス（延長6.1km）のうち、既開通区間を含め4.6kmが部分開通。

○仙北市街地部を迂回し、渋滞の緩和が期待できるとともに移動時間が短縮。

［仙北市］ 国道46号 角館バイパス （H9～H22（部分暫定2車線供用））

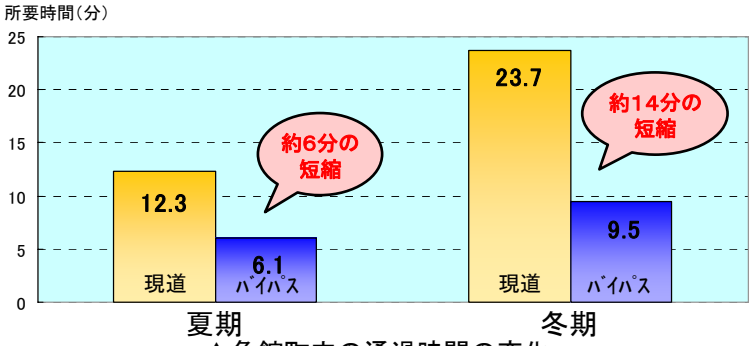
・現道隘路区間の解消、広域交通・観光ネットワーク構築のため、格子状骨格道路を整備し、移動時間が短縮されます。
・H22年度工事関係費：745百万円
・H22年度は、2km区間の部分暫定2車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。





▲現道の渋滞状況

▲整備が進む角館バイパス（国道46号交差部）



▲角館町内の通過時間の変化
（※角館バイパスが全線開通した場合）

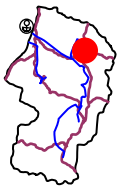
重点戦略1

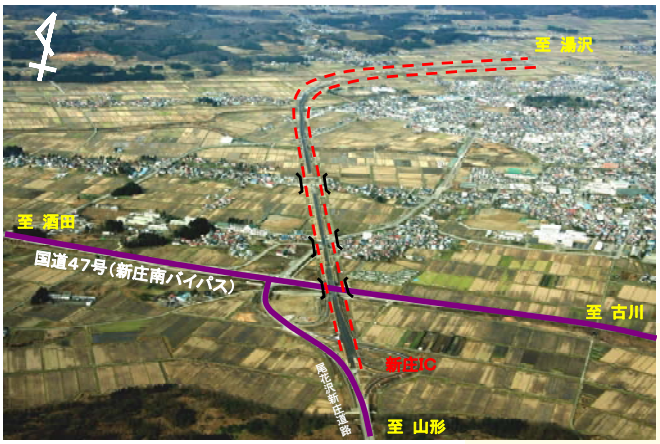
話題6 （山形県）

○国道13号新庄北道路（延長4.7km）が全線暫定2車線で供用。
○新庄市街地部を迂回し、交通混雑の緩和が期待できるとともに移動時間が短縮。

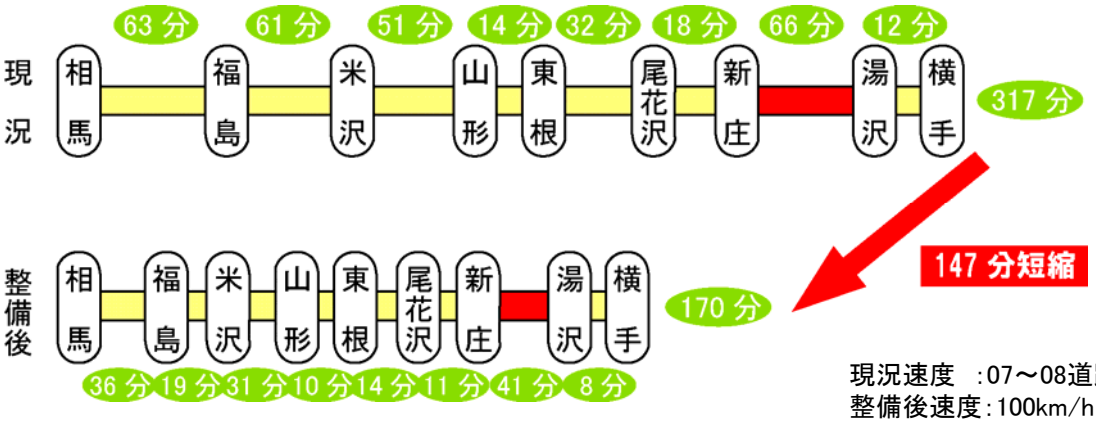
［新庄市］ 国道13号 新庄北道路 （H12～H22（全線暫定2車線供用））

・人流・物流ネットワーク構築のため、格子状骨格道路を整備し、移動時間が短縮されます。
・H22年度工事関係費：300百万円
・H22年度は、全線暫定2車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。





▲整備が進む新庄北道路（起点側から終点側を望む）



←相馬市～横手市間の所要時間の変化（東北中央自動車道全線整備の場合）

現況速度 ：07～08道路時刻表
整備後速度：100km/h（一部80km/h）として設定

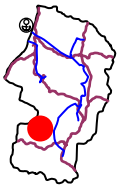
重点戦略1 重点戦略3 重点戦略4

話題7 （山形県）

長井ダムが完成。最上川流域の洪水被害・渇水被害の軽減を図る。

［長井（ながい）市］ 長井（ながい）ダム建設事業 （S59～H22完成予定）

・長井ダムの完成により、最上川流域の洪水被害・渇水被害の軽減が図られます。
・H22年度工事関係費：1，951百万円（2，416百万円：業務取扱費込み）
・H22年度は、事業完成に向けて管理設備工事等を実施します。



平成11年8月渇水による河川の状況

平成21年12月撮影

ダムからの放流による河川状況

事業効果

○置賜野川及び最上川沿川の洪水防御

○美しい川の環境を守るため安定した流量を維持

○かんがい用水の補給：約7,900haの農地へ最大約19.4m3／s

○水道用水の安定供給：長井市へ10,000m3／日

○発電：最大出力10,000kwの発電

長井ダム諸元	
水系名	最上川水系
河川名	置賜野川
位置	山形県長井市
流域面積	101.2km^2
ダム型式	重力式コンクリート
ダム高	125.5m
堤頂長	381.0m
総貯水容量	51,000千m^3
有効貯水容量	48,000千m^3

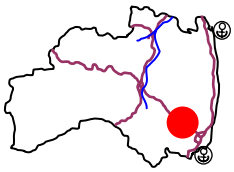
重点戦略2

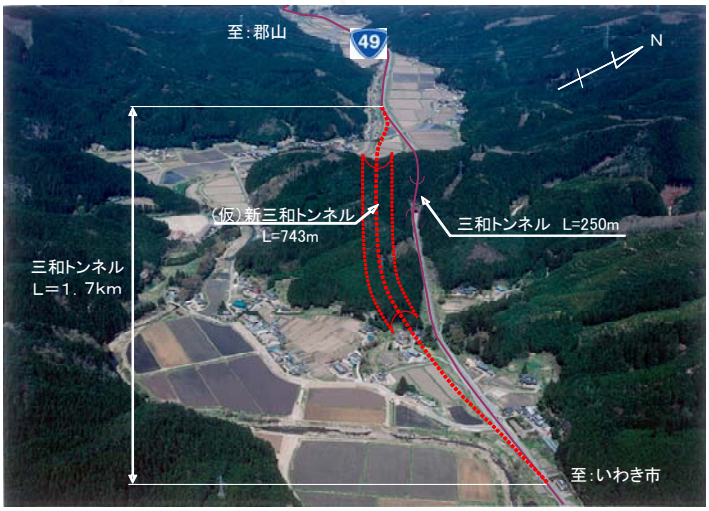
話題8 （福島県）

○国道49号三和トンネル（延長1.7km）が全線完成2車線供用。
○福島県内の全直轄国道において背高コンテナが通行可能に。

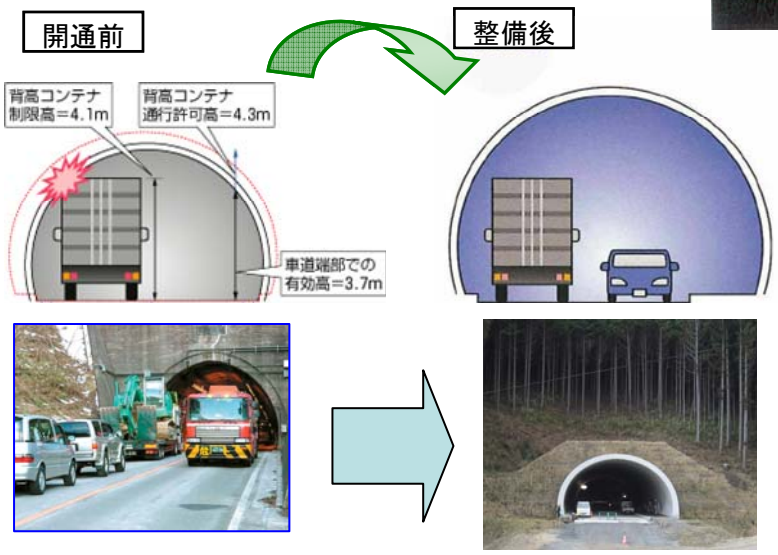
［いわき市］ 国道49号 三和（みわ）トンネル （H16～H22（全線完成2車線供用））

・国際物流基幹ネットワーク拡充のため、主要幹線道路の機能強化を図り、移動時間を短縮します。
・H22年度工事関係費：650百万円
・H22年度は、全線完成2車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。

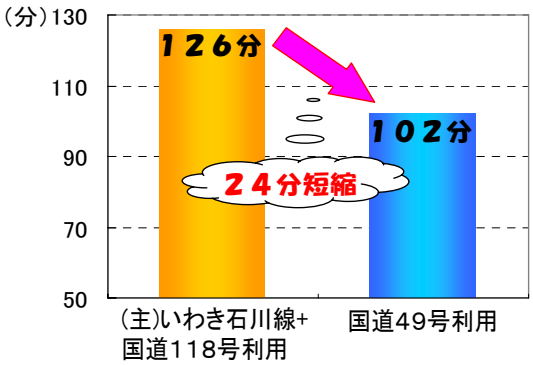




▲三和トンネル（いわき市側から郡山側を望む）



▲国際コンテナ通行支障区間を解消し、効率的な輸送体系を構築する。



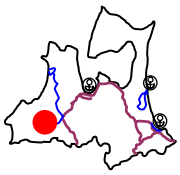
▲小名浜港から県中地区への所要時間の変化

重点戦略3　重点戦略4

話題9 （青森県）
平成28年度の完成を目指し、本体打設の本格化。

［青森県（中津軽郡西目屋村）］津軽ダム建設事業（H3～H28）

・洪水調節、流水機能の維持、かんがい用水の補給、水道・工業用水の供給、発電を行い、安全で安心な生活の確保を図ります。
・H22年度工事関係費：9，071百万円（10,177百万円：業務取扱費込み）
・H22年度は、本体工事、付替道路工事等を実施します。



▲津軽ダム完成予想図

津軽ダム諸元	
水系名	岩木川水系
河川名	岩木川
位置	青森県中津軽郡西目屋村
流域面積	172.0km^2
ダム型式	重力式コンクリート
ダム高	97.2m
堤頂長	342.0m
総貯水容量	140,900千m^3
有効貯水容量	127,200千m^3

▲平成16年9月台風による出水状況
（岩木川：弘前市）

事業効果
○岩木川沿川の洪水防御
○美しい川の環境を守るため安定した流量を維持
○かんがい用水の補給：約9,600haの農地へ最大約30.3m3／s
○水道用水の安定供給：弘前市へ14,000m3／日
○工業用水の安定供給：五所川原市へ10,000m3／日
○発電：最大出力8,500kwの発電

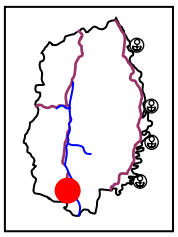
重点戦略3

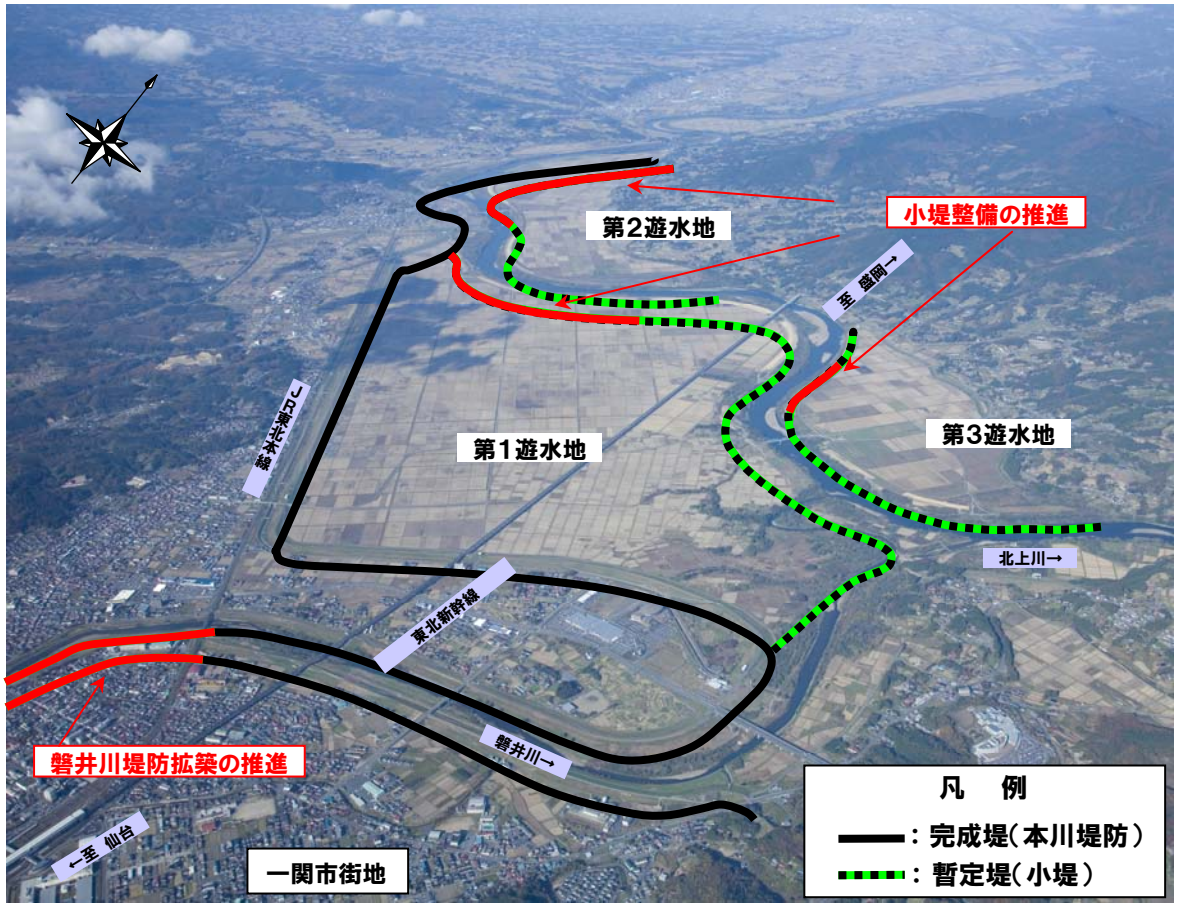
話題10 （岩手県）

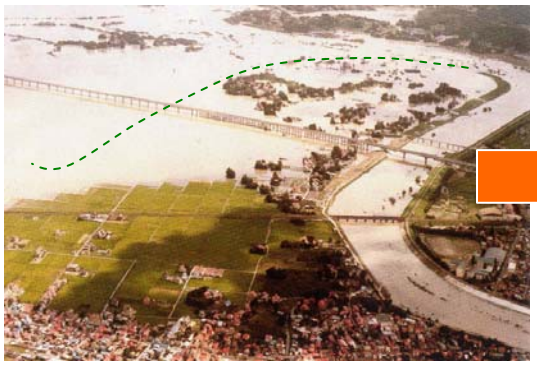
「北上川治水の根幹」である一関遊水地建設事業を推進し、北上川流域の洪水被害の軽減を図る。H22年度より、支川磐井川の改修に本格着手。

［一関市、奥州市、西磐井郡平泉町］ **北上川上流　一関遊水地建設事業** （S47～H30年代後半）

・岩手宮城県境の約30kmにもおよぶ狭窄区間の影響で、洪水流が堰き止められ、過去幾度となく発生している洪水被害を解消するため、遊水地を整備し、北上川流域の洪水被害の軽減を図ります。
・H22年度工事関係費：3，809百万円
・H22年度は、遊水地内小堤及び磐井川堤防の拡築整備等を実施します。







▲S56.8出水状況

▲H19.9出水状況

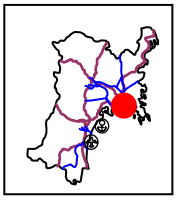
重点戦略3

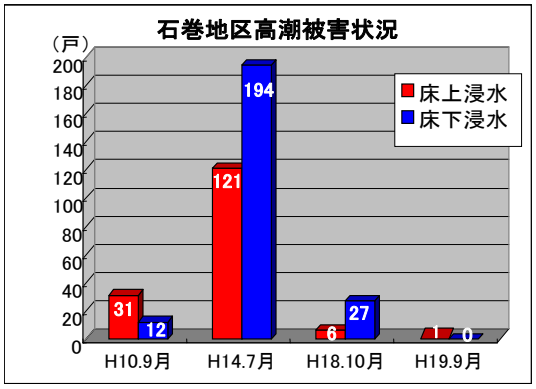
話題11 （宮城県）

近年、高潮被害が頻発。無堤部の緊急的な高潮対策を実施し、浸水被害を軽減。
チリ地震津波（H22.2）にも効果を発揮。

［石巻市］ 旧北上川 石巻地区緊急高潮対策 （H20～H22完成予定）

・近年、高潮による浸水被害が多発している石巻地区において、浸水防止施設を整備し、高潮による浸水被害を受けた家屋等の再度災害防止を図ります。
・H22年度工事関係費：109百万円
・H22年度は、浸水防止施設（L=1,500m）の整備等を実施します。





H22年2月28日
チリ地震津波

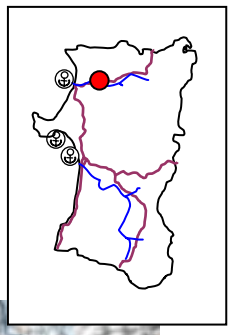
重点戦略3

話題12 （秋田県）

米代川において、平成19年9月洪水の再度災害防止対策が完成。米代川流域の洪水被害の軽減に貢献。またH23完成を目指し、森吉山ダムでは、試験湛水中。

［能代市］ 米代川 河川災害復旧等関連緊急事業 （H19～H22完成予定）

・平成19年9月洪水では、米代川流域で600戸余りの家屋浸水被害が発生しており、国土交通省・秋田県・沿川自治体が連携を図り、再度災害防止対策を実施し、米代川流域の洪水被害の軽減を図ります。
・H22年度工事関係費：929百万円
・H22年度は、平成19年9月洪水の再度災害防止を図るため、輪中堤整備、河道掘削等を実施します。
・また、森吉山ダムでは、H23年度の完成を目指し、試験湛水中。



能代市扇田地区堤防法面崩落状況

能代市小繋地区家屋浸水状況

能代市麻生地区家屋浸水状況

▲平成19年9月洪水被害状況

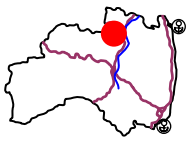
重点戦略3

話題13 （福島県）

須川第二砂防堰堤の完成。土砂災害から保全対象である福島市街地を守る。

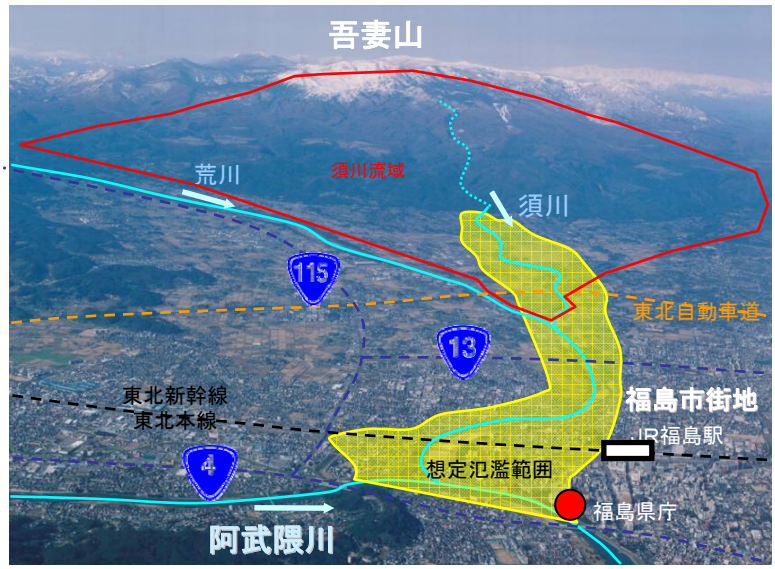
［福島市］ **阿武隈川水系　火山砂防事業　須川第二砂防堰堤** （H18～H22完成予定）

・須川上流からの土砂流出から福島市街地や東北自動車道等の重要交通網を保全するため、砂防堰堤を整備します。
・H22年度工事関係費：150百万円
・H22年度は、主堰堤の工事を実施します。



須川上流域の荒廃状況

保全対象の状況



須川第二砂防堰堤

重点戦略3

話題14

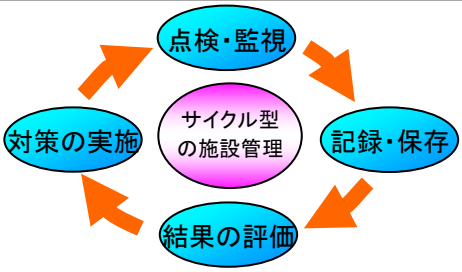
一斉に老朽化を迎える社会資本ストックの長寿命化対策を推進。

河川管理施設のおける長寿命化対策

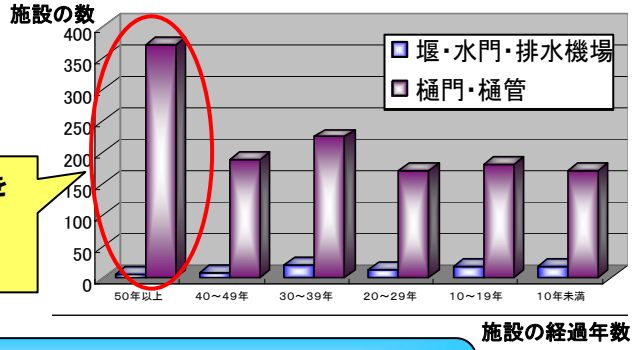
・老朽化した河川管理施設について、効率的な補修により長寿命化を図り、コストを抑えながら治水安全度の確保を図ります。
・損傷が進行する前の軽微な段階で補修を実施し、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
・H22年度　590百万円（河川工作物応急対策事業全体）
・「河川工作物応急対策事業」による「小口径断面樋管の管体補修」にて、管体にクラック等が生じている小口径樋管に対しては、樹脂等によるライニング（内面被覆）を行います。

東北地方整備局管内　直轄河川管理施設の現状　⇒　老　朽　化　が　進　行

施設の状態を的確に把握し、計画的に対策を実施
⇒　サイクル型の施設管理を実施

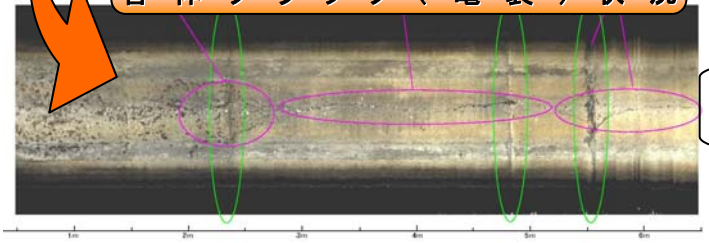


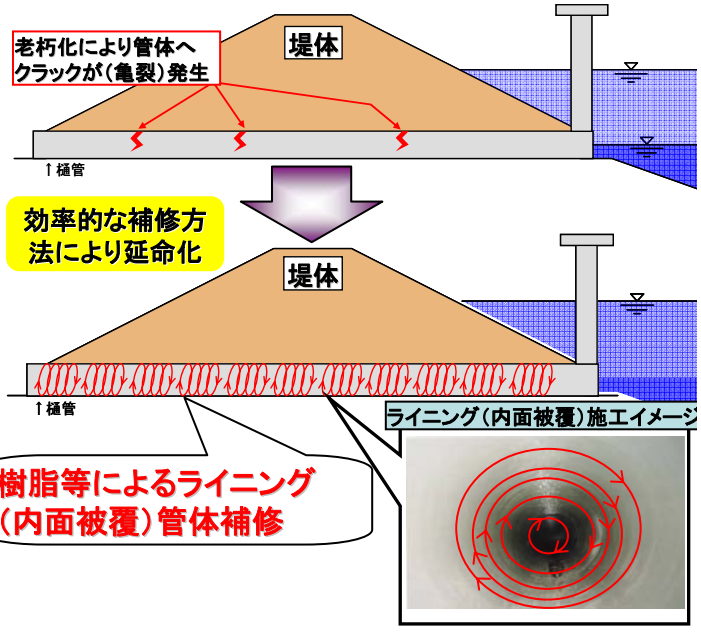
建設後50年以上を経過した施設数
◆全体の約25％



「老朽化」 施設に対し「ライフサイクルコストの縮減」 を図った対策の一例
⇒　「河川工作物応急対策事業」 による「小口径断面樋管の管体補修」

小型カメラによる樋管内部の管体クラック（亀裂）状況





「小口径断面樋管の管体補修」
要　対　策　箇　所　数

	H19	H20	H21	H22	H23
東北地整管内	32 施設	28 施設	4 施設	5 施設	7 施設

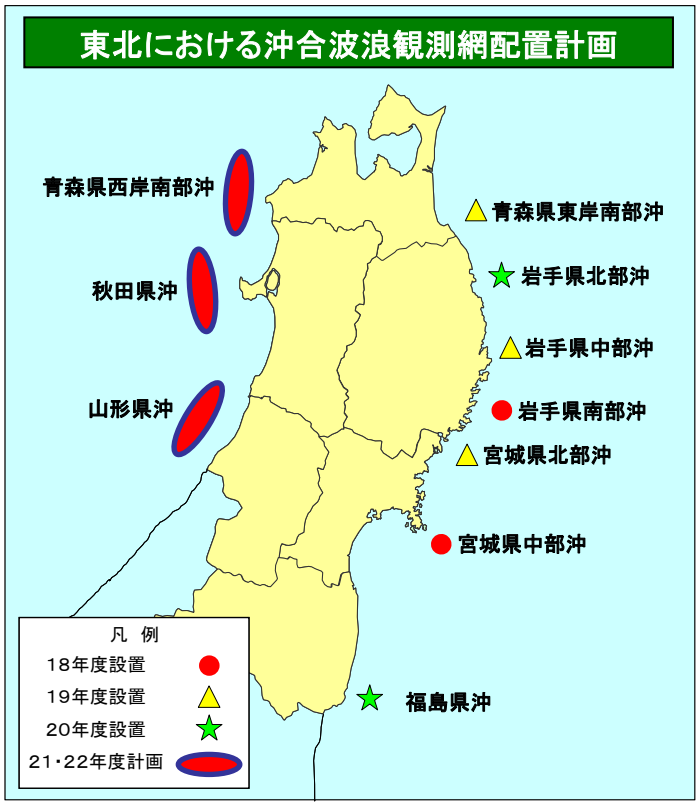
重点戦略3

話題15

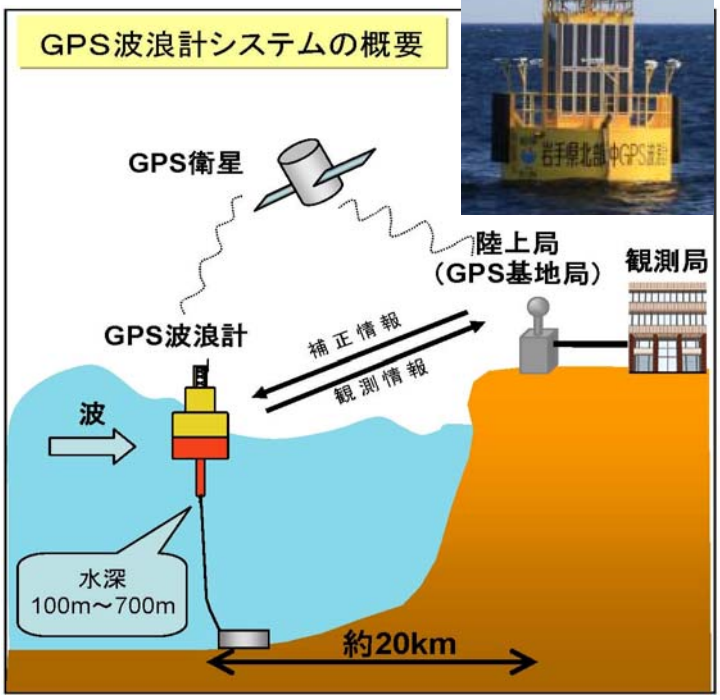
GPS波浪計の日本海側3基の設置により、沖合波浪観測網が完成。

GPS波浪計を活用した沖合波浪観測網の整備 （H18～H22）

・港湾整備に必要な沖合の波浪を精度良く観測するため、GPS波浪計を整備します。また、沖合で津波を検知することができるため、住民の避難や被害の軽減等に貢献します。
・H22年度は、事業完成に向けて、日本海側の3基を設置します。



岩手県北部沖に設置されたGPS波浪計▶



◆2010年2月27日チリ中部沿岸地震津波時のGPS波浪計観測結果

・GPS波浪計により、岸から10～20kmの沖合において、津波高が最大で20～30cmを観測しました。（下図）
また、観測したデータは、気象庁が発表した津波情報へ初めて活用されました。
※港湾局HP：http://www.mlit.go.jp/kowan/

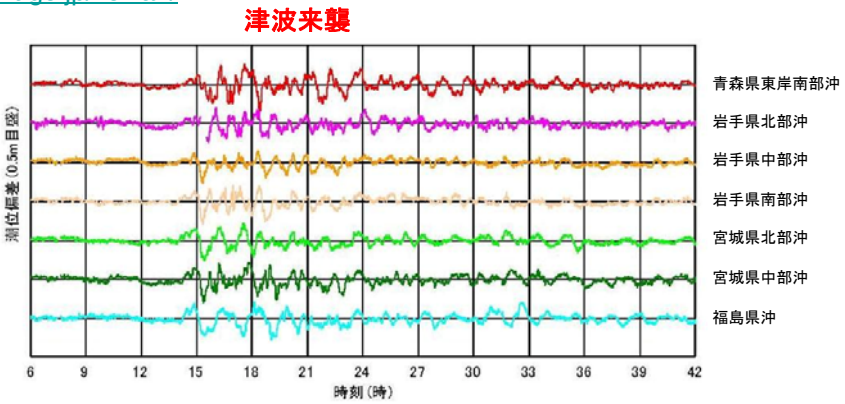


図 GPS波浪計により観測した津波の波形

重点戦略3

話題16

細密に監視可能なレーダを配備。栗駒山地域の監視体制を強化。

Xバンドレーダの必要性

・岩手・宮城内陸地震により、栗駒山地域で大規模な土砂災害等による天然ダムが15箇所発生
・当該地域において土砂災害の潜在的危険度が高まっている。
・今後の降雨により崩壊が拡大し、下流域に被害を及ぼす恐れがある

栗駒山地域の監視体制強化のためXバンドMPレーダを導入

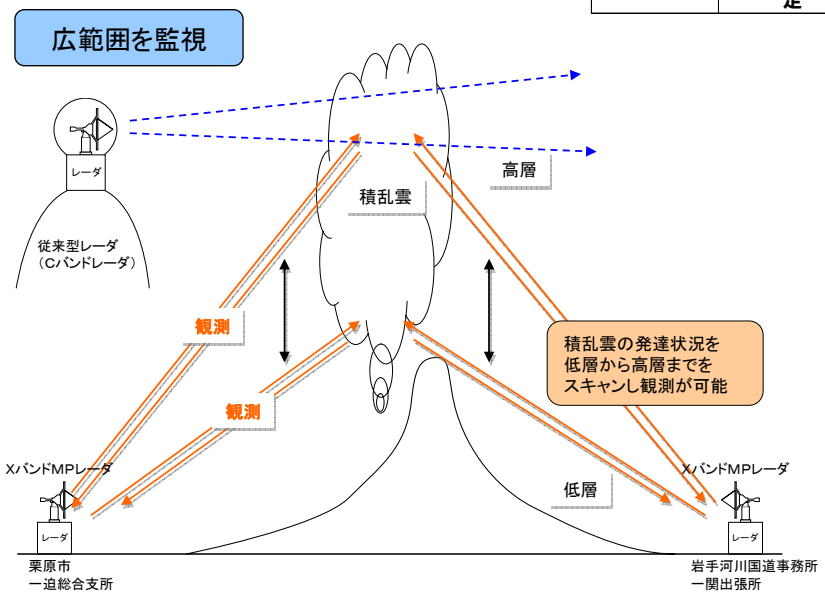
【岩手・宮城内陸地震による河道閉塞（天然ダム）写真

Xバンドレーダの活用方法

・工事中の安全管理
・下流域住民への警戒避難体制の充実
・自治体（宮城県・岩手県）へリアルタイム情報の提供

年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26
全体計画	機器導入・試験運用		運用監視期間			移設
	仕様の検討 / 配置箇所の選定		データ提供開始		監視終了	

【今後のスケジュール】



【XバンドMPレーダ写真（参考）】

【従来型レーダとの比較表】

レーダ種類	今回整備するレーダ（XバンドMPレーダ）	国交省の従来型レーダ（Cバンドレーダ）
観測範囲	半径３０ｋｍ	半径１２０ｋｍ （全国２６基で全国をカバー）
観測分解能	２５０ｍメッシュ	１ｋｍメッシュ
観測項目	雨量、風、降水粒子タイプ、雨滴粒径分布	雨量
情報発表までのタイムラグ	１～２分	５～１０分
摘　要	急激に発生・発達するゲリラ豪雨の監視 （観測範囲は限られるが細密に監視）	台風や発達した低気圧の接近に伴う降雨を観測し、 洪水や土砂災害等の監視（広範囲を監視）

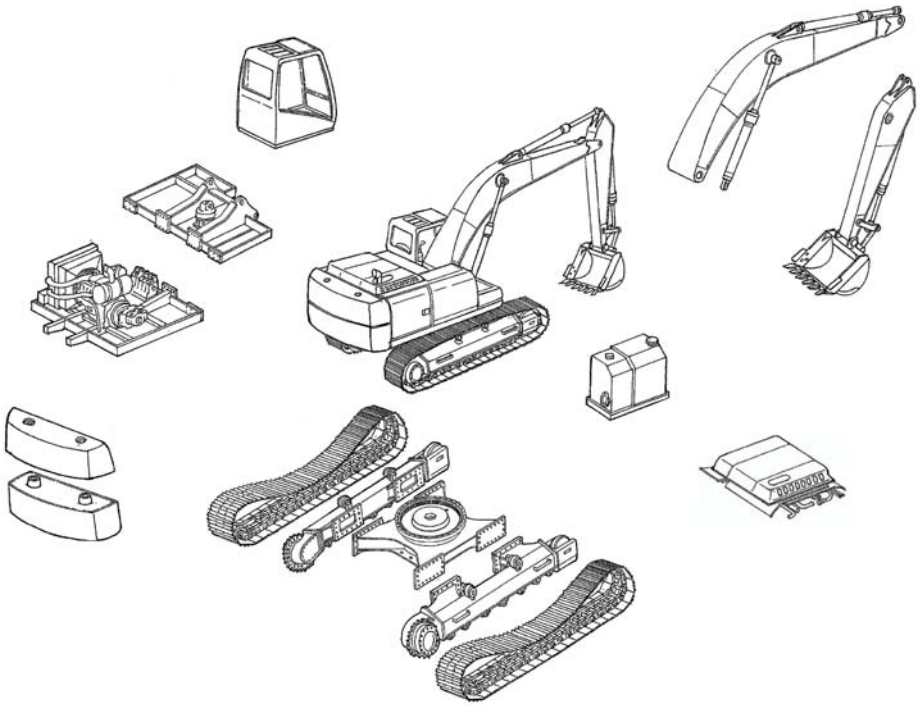
重点戦略3

話題17

ヘリコプターで災害現場へ！空輸対応型油圧ショベル配備　～岩手・宮城内陸地震の教訓～

交通途絶地への迅速な対応を可能とする「空輸対応型油圧ショベル」の配備（H21～H22）

岩手・宮城内陸地震の教訓を受け、陸路による重機の運搬が不可能な箇所における応急復旧工事を効率的・効果的に行う空輸対応型油圧ショベルを開発し宮城県内（東北技術事務所）に配備しました。
H22年度は分解組立確認試験、アタッチメントの購入等を行います。
【空輸対応型油圧ショベル（1．0m3級）】
○　主要仕様
型　　式：　空輸対応型（最大ブロック重量2.7t）　遠隔操縦式
バケット 容量：　1.0 m3（山積）
アタッチメント：　ブレーカ、グラップルソー※
車 両 総質量：　25.8t（バケット装着時）
定 格 出 力：　132 kW
※林業機械の一種で木材の玉きり、集積を行う



▲空輸対応型油圧ショベル（1.0m3級）分割姿図

▲河道閉塞状況
（岩手・宮城内陸地震）

▲ヘリコプターによる空輸事例
油圧ショベル0.5m3（岩手・宮城内陸地震）

【開発機の特徴】
・民間保有ヘリコプター（3t吊り）でも空輸可能
・特殊工具を使用しない分解組立作業が可能
・油圧配管、電気配線は容易に脱着可能

【分解・空輸・組立の所要日数】
従来型（非分解0.5m3級）油圧ショベルでは、分解・空輸・組立に要する日数は9日であったが、本開発機（空輸対応型1．0m3級）では5日程度となり4日間の短縮となります。

４．県別主要事業（直轄）

(1)青森県

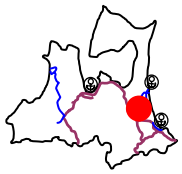
事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	H22事業内容	頁
■完成・供用								
道路	直轄	国道４号　七戸バイパス	十和田市～上北郡七戸町	Ｈ１	Ｈ２２	500	全線暫定２車線供用　L=2.8km 改良、舗装工事	5
道路	直轄	国道７号　弘前バイパス	弘前市	Ｓ４４	Ｈ２２	100	全線完成４車線供用　L=1.3km 改良、舗装工事	
道路	直轄	国道７号　高間地区電線共同溝	青森市	Ｈ２１	Ｈ２２	200	電線共同溝　L=900m	24
道路	直轄	国道１０４号　田面木歩道整備事業	八戸市	Ｈ１６	Ｈ２２	108	事業完　L=1,200m 改良、舗装工事	23
営繕	直轄	青森地方合同庁舎	青森市	Ｈ２２	Ｈ２２	319	・外壁改修 ・エレベーター設備改修	25
■継続								
河川	直轄	岩木川　板柳地区河川改修事業	北津軽郡板柳町	Ｈ８	Ｈ２０年代後半	90	築堤L=150m 河道掘削１式	
河川	直轄	小川原湖水環境整備	上北郡東北町	Ｈ２０	Ｈ２９	140	水質浄化対策	23
河川（ダム）	直轄	津軽ダム建設事業	中津軽郡西目屋村	Ｈ３	Ｈ２８	9,071	本体工事 付替道路工事等	13
道路	直轄	国道４号　土屋バイパス	東津軽郡平内町～青森市	Ｓ６０	Ｈ２３	323	用地補償 改良、舗装工事	
道路	直轄	国道７号　石川バイパス	弘前市	Ｈ１９（再開）	Ｈ２３	740	改良、舗装工事 橋梁工事	
道路	直轄	国道７号　青森西バイパス（Ⅱ期）	青森市	Ｈ１９	Ｈ２３	416	改良、舗装工事	
道路	直轄	国道４５号　上北道路	上北郡六戸町～東北町	Ｈ１７	Ｈ２４	4,400	用地補償 改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道４５号　上北天間林道路	上北郡東北町～七戸町	Ｈ２０	－	560	用地補償	
道路	直轄	国道４５号　八戸南環状道路	八戸市	Ｈ３	－	1,046	用地補償 改良、トンネル工事	
道路	直轄	国道４５号　八戸南道路	八戸市	Ｈ７	Ｈ２４	749	用地補償 改良、舗装工事	
道路	直轄	国道１０１号　鰺ヶ沢道路	つがる市～西津軽郡鰺ヶ沢町	Ｈ１９	－	368	調査設計 用地補償	
道路	直轄	国道１０１号　五所川原西バイパス	五所川原市～つがる市	Ｈ１６	－	1,800	用地補償 改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道４号　清水川歩道整備事業	東津軽郡平内町	Ｈ２０	Ｈ２４	117	改良工事	
道路	直轄	国道１０４号　八幡歩道整備事業	八戸市	Ｈ１７	Ｈ２３	96	改良工事	
道路	補助	国道２７９号　有戸北バイパス	上北郡六ヶ所村～野辺地町	Ｈ１２	Ｈ２０年代前半	1,100	改良工事	
港湾	直轄	青森港沖館地区・油川地区　防波堤整備事業	青森市	Ｓ５７	Ｈ２７	928	本体工（ｹｰｿﾝ製作・据付12函）	24
港湾	直轄	八戸港八太郎地区・外港地区 防波堤整備事業	八戸市	Ｓ５１	Ｈ２４	351	本体工（ｹｰｿﾝ据付2函）	25

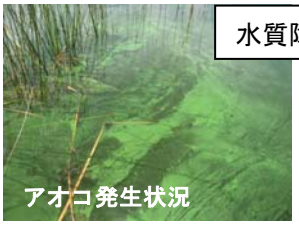
※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

継続

［上北郡東北町］ 小川原湖水環境整備 （H20～H29）

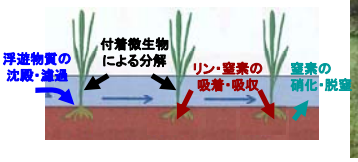
・水質改善のための対策を行い、生態系の保全・水産資源の確保等を図ります。
・H22年度工事関係費：140百万円
・H22年度は、水質浄化対策（植生浄化施設等）を実施します。





水質浄化対策イメージ

抽水植物等により
汚濁物質を吸収

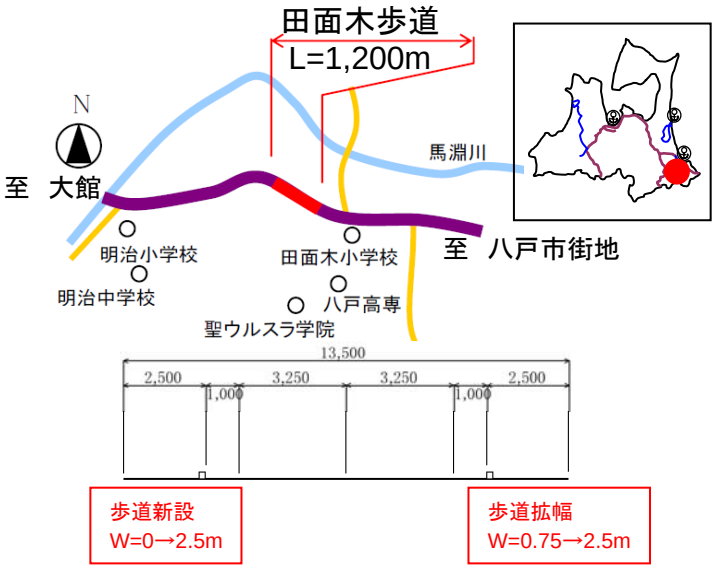


供用

［八戸市］ 国道104号 田面木歩道整備事業 （H16～H22）

・通学路で歩道が未整備及び狭隘な区間の安全確保のため、歩道の新設及び拡幅を実施します。
・H22年度工事関係費：108百万円
・H22年度は、事業完成に向けて改良・舗装工事を実施します。

▲通学時の利用状況

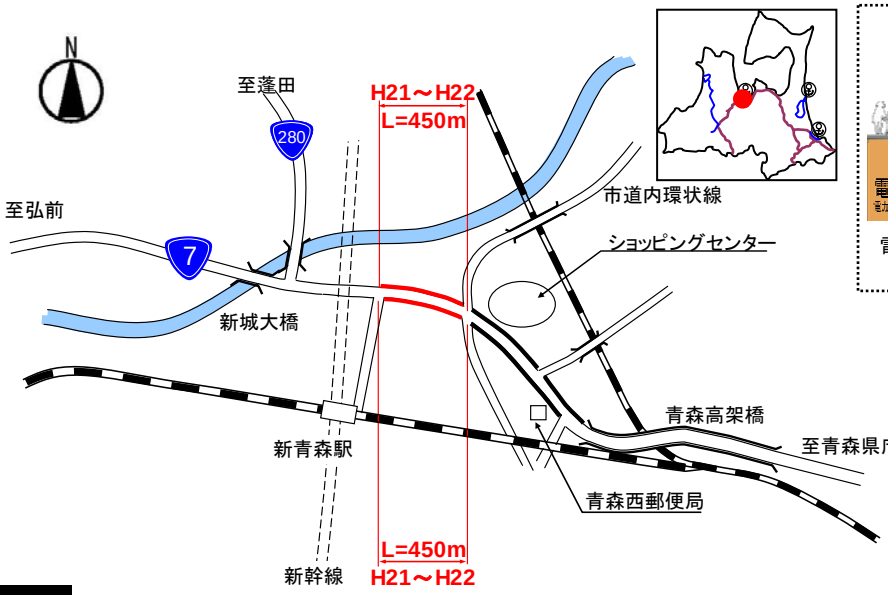


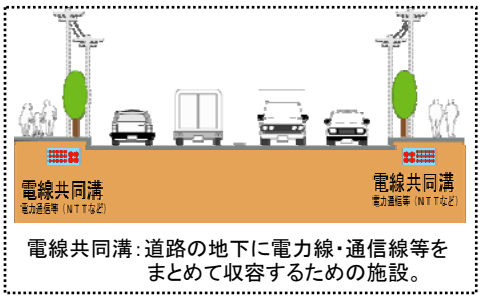
▲計画横断図

供用

［青森市］ 国道7号　高間地区電線共同溝 （H21～H22）

・電柱倒壊等を回避するため電線類を地中化し、災害時の救援、救急活動や緊急物資の運搬に資する緊急輸送道路としての機能が確保されるとともに、電力・通信等のライフラインの信頼性が向上されます。
・H22年度工事関係費：200百万円
・H22年度は、事業完成に向けて電線共同溝（L=900m）を整備します。





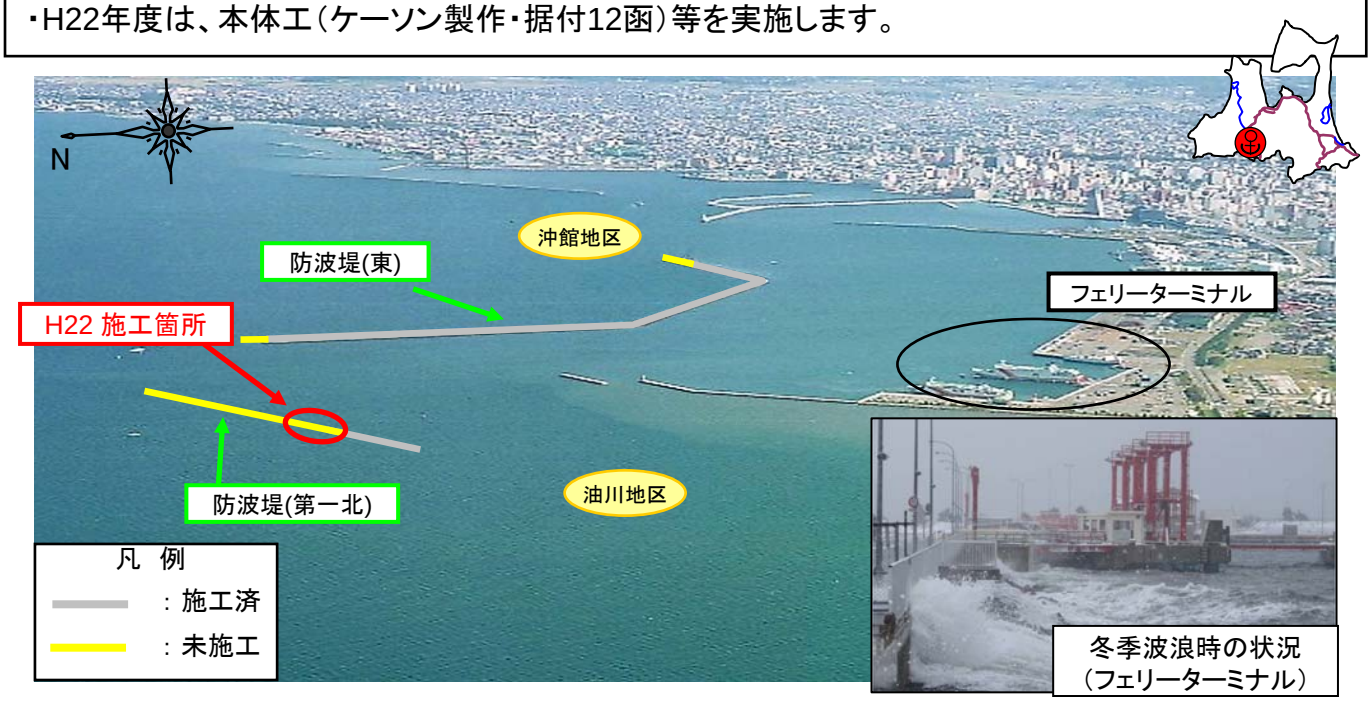
電線共同溝：道路の地下に電力線・通信線等をまとめて収容するための施設。

▲現況写真

継続

［青森市］ 青森港沖館地区・油川地区　防波堤整備事業 （S57～H27）

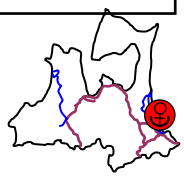
・防波堤整備により、北海道と本州の人流・物流を支えるフェリー運航の安定性向上を図ります。また、背後地における越波・浸水被害を軽減します。
・H22年度工事関係費：928百万円
・H22年度は、本体工（ケーソン製作・据付12函）等を実施します。



継続

［八戸市］ 八戸港八太郎地区・外港地区　防波堤整備事業 （S51～H24）

・防波堤整備により、港内の静穏度を確保し安定的な荷役を可能にします。また、避泊水域創出による航行船舶の安全確保を図ります。
・H22年度工事関係費：351百万円
・H22年度は、本体工（ケーソン据付2函）等を実施します。



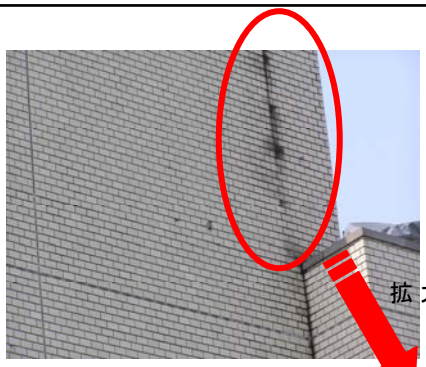
※避泊水域とは、荒天時などに船舶が安全に避難・停泊する場所

完成

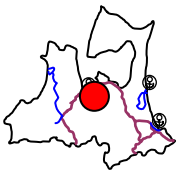
［青森市］ 青森地方合同庁舎　外壁・エレベーター改修 （H22）

・劣化及び不具合解消のため、外壁・エレベーター設備改修を行うものです。
・H22年度事業費：319百万円

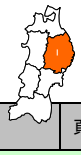
▲ 青森地方合同庁舎



剥離・ひび割れ状況



タイルの劣化が著しい外壁の改修を実施することにより、官庁施設の利用者の安全確保が図られます。



(2)岩手県

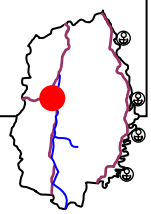
事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	H22事業内容	頁
■完成・供用								
河川	直轄	北上川上流　一関・川崎地区 土地利用一体型水防災事業	一関市	Ｈ１８	Ｈ２２	413	用地補償 輪中堤１式	
河川（ダム）	補助	遠野第二生活貯水池整備事業	遠野市遠野町	Ｈ２	Ｈ２２	427	ダム本体工、周辺整備工	
道路	直轄	国道４５号　釜石山田道路	釜石市 ～下閉伊郡山田町	Ｈ５	Ｈ２２	2,300	部分暫定２車線供用　L=4.6km 用地補償、改良、橋梁、舗装工事	28
道路	直轄	国道４５号　中野バイパス	下閉伊郡岩泉町～ 下閉伊郡田野畑村	Ｓ６１	Ｈ２２	1,300	全線完成２車線供用　L=4.7km トンネル管理設備、舗装工事	6
道路	直轄	国道４６号　盛岡西バイパス	盛岡市	Ｓ５９	Ｈ２２	745	部分暫定４車線供用　L=1.0km 用地補償、舗装工事	
道路	直轄	国道４５号　豊間根歩道整備事業	下閉伊郡山田町	Ｈ２１	Ｈ２２	54	事業完　L=400m 改良、舗装工事	
■継続								
河川	直轄	北上川上流　一関遊水地建設事業	一関市、奥州市、 西磐井郡平泉町	Ｓ４７	Ｈ３０年代 後半	3809	磐井川 排水樋門2基 磐井川 用地補償 遊水地小堤L=2950m	14
河川	直轄	北上川上流　中流部 （立花・八幡・紫波地区）河川改修事業	北上市、花巻市、 紫波町	Ｈ１９	Ｈ２０年代 後半	785	輪中堤１式 排水樋門１式	
河川	直轄	盛岡地区かわまちづくり	盛岡市	Ｈ２１	Ｈ２６	120	管理用通路、管理用階段、低水護岸	27
河川（ダム）	直轄	胆沢ダム建設事業	奥州市	Ｓ６３	Ｈ２５	17,491	堤体盛立等本体工事 付替道路工事等	
河川（砂防）	直轄	栗駒山系 特定緊急砂防事業　槻木平　堰堤	一関市	Ｈ２１	Ｈ２５	360	砂防堰堤N=1基	27
道路	直轄	東北横断自動車道 釜石秋田線　遠野～宮守	遠野市	Ｈ１５	－	645	用地補償、改良工事	
道路	直轄	東北横断自動車道 釜石秋田線　宮守～東和	遠野市～花巻市	Ｈ１０	Ｈ２４	4,401	改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道４号　北上拡幅	北上市	Ｓ５７	－	245	用地補償	
道路	直轄	国道４号　水沢東バイパス	奥州市	Ｓ６０	－	109	用地補償	
道路	直轄	国道４号　石鳥谷バイパス	花巻市 ～紫波郡紫波町	Ｈ１８	Ｈ２３	270	橋梁工事	
道路	直轄	国道４号　盛岡北道路	盛岡市 ～岩手郡滝沢村	Ｈ１９	－	500	用地補償	
道路	直轄	国道４号　渋民バイパス	盛岡市	Ｓ６１	－	57	調査・設計	
道路	直轄	国道４５号　高田道路	陸前高田市 ～大船渡市	Ｈ６	－	1,215	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道４５号　吉浜道路	大船渡市	Ｈ１９	－	1,020	用地補償、改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道４５号　宮古道路	宮古市	Ｈ１１	－	300	用地補償、橋梁工事	
道路	直轄	国道４５号　尾肝要道路	下閉伊郡田野畑村	Ｈ１８	－	690	改良、トンネル工事	
道路	直轄	国道４５号　普代バイパス	下閉伊郡普代村	Ｓ６３	－	770	橋梁工事	
道路	直轄	国道４５号　久慈北道路	久慈市	Ｈ２０	－	500	調査設計 用地補償	
道路	直轄	国道１０６号　都南川目道路	盛岡市	Ｈ９	－	450	改良工事	
道路	直轄	国道４５号　水沢登坂車線整備事業	宮古市	Ｈ２０	Ｈ２４	261	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道４６号　七ツ森視距改良	岩手郡雫石町	Ｈ２０	Ｈ２４	171	用地補償、改良工事	
道路	補助	国道１０６号　梁川道路	盛岡市	Ｈ８	Ｈ２４	700	改良工事	
港湾	直轄	久慈港湾口地区　防波堤整備事業	久慈市	Ｈ２	－	1,705	本体工（ｹｰｿﾝ製作4函、据付2函）	28
港湾	直轄	宮古港竜神崎地区　防波堤整備事業	宮古市	Ｓ６３	－	86	基礎工	
港湾	補助	大船渡港永浜・山口地区 国内物流ターミナル整備事業	大船渡市	Ｈ６	Ｈ２６	170	上部工	

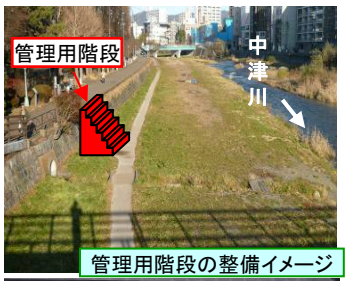
※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

継続

［盛岡市］ 盛岡地区かわまちづくり （H21～H26）

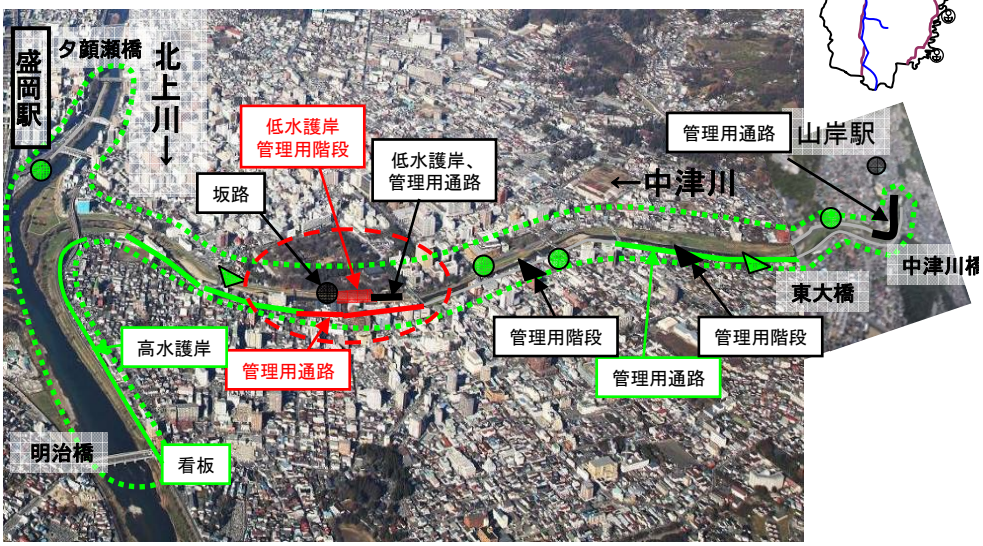
・川沿いの管理用通路や管理用階段等、市内観光等にも利用できる河川管理施設の整備を行うことにより、観光による地域活性化を支援します。
・H22年度工事関係費：120百万円
・H22年度は、管理用通路、管理用階段、低水護岸等の整備を実施します。





管理用階段の整備イメージ

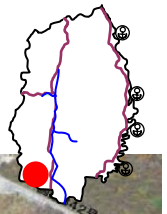
管理用通路の整備イメージ

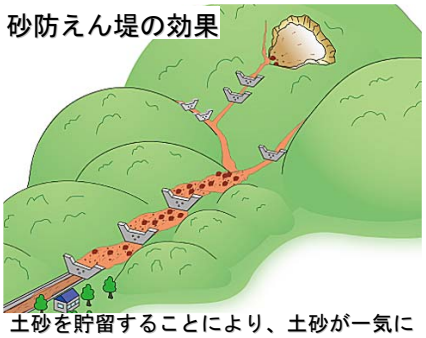


継続

［岩手県（一関市）］（直轄）栗駒山系　特定緊急砂防事業　槻木平堰堤（H21～H25）

・岩手・宮城内陸地震により生じた不安定土砂の下流への流出を防ぐため、既設えん堤を嵩上げし、土砂災害から人命・財産を保全します。
・H22年度工事関係費：360百万円
・H22年度は、主えん堤・副えん堤の工事を実施します。



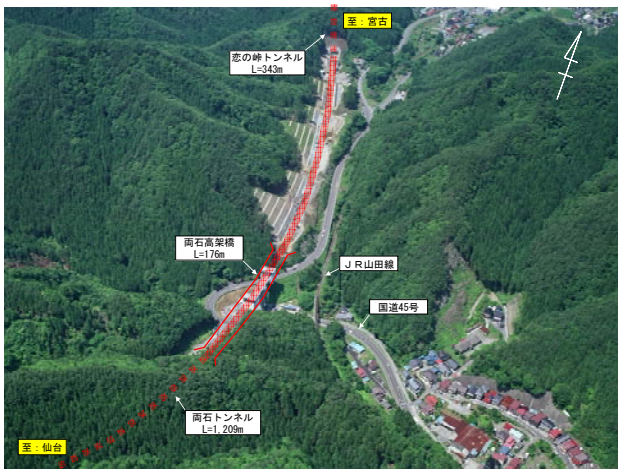


土砂を貯留することにより、土砂が一気に流下することを防ぎ、下流で土砂が氾濫しにくくなります

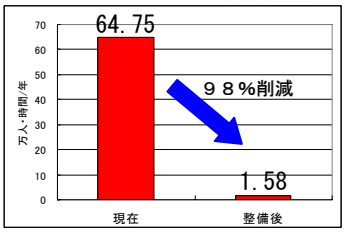
供用

［釜石市］ 国道45号　釜石山田道路 （H5～H22（部分暫定2車線供用））

・人流・物流ネットワーク構築のため、格子状骨格道路を整備し、交通の円滑化が図られます。
・H22年度工事関係費：2,300百万円
・H22年度は、4.6km区間の部分暫定2車線供用に向けて舗装工事等を実施します。



▲整備が進む釜石山田道路（釜石市両石地区）



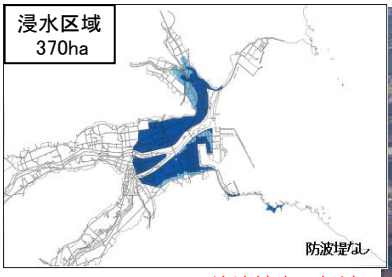
▲並行現道の渋滞損失時間の変化（試算）

▲渋滞状況（釜石市鵜住居地区）

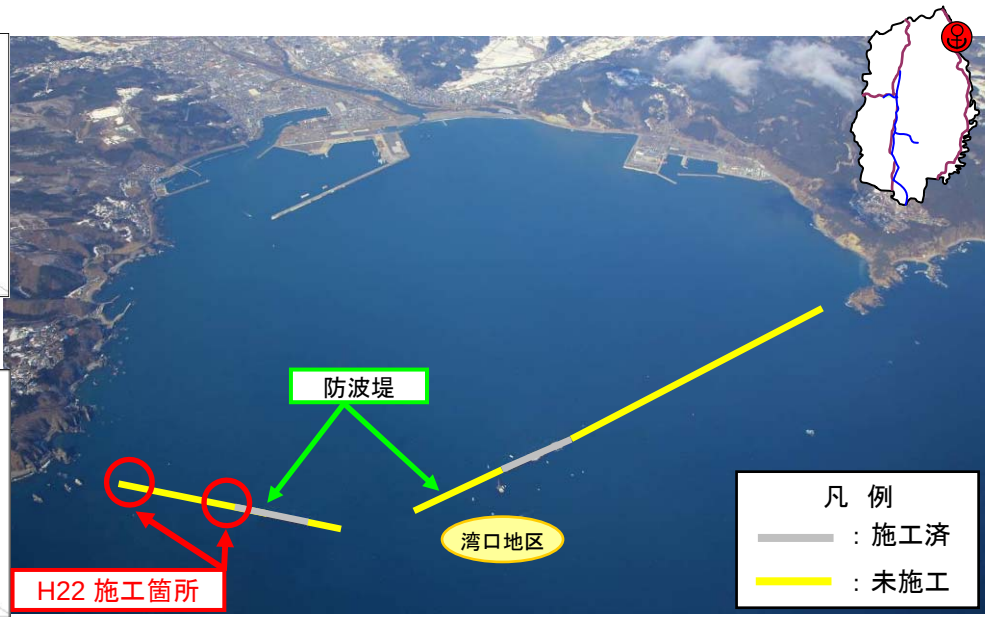
継続

［久慈市］ 久慈港湾口地区　防波堤整備事業（直轄海岸事業との合併事業）

・防波堤を整備することで津波被害の軽減を図り、背後地域の貴重な人命や財産を守ります。
・H22年度工事関係費：1,705百万円
・H22年度は、本体工（ケーソン製作4函、据付2函）等を実施します。



津波被害の軽減



(3)宮城県

事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	Ｈ２２事業内容	頁
■完成・供用								
河川	直轄	名取川　藤塚地区河川改修事業	仙台市	Ｈ１４	Ｈ２２	1610	築堤L=1600m 水門１基 排水樋門１基	
河川	直轄	旧北上川　石巻地区緊急高潮対策	石巻市	Ｈ２０	Ｈ２２	109	浸水防止施設L=1500m	15
道路	直轄	国道４５号　唐桑道路	気仙沼市	Ｈ１４	Ｈ２２	1,700	全線暫定２車線供用　L=3.0km トンネル管理設備、改良、舗装工事	7
道路	直轄	国道４号　富谷大和拡幅	仙台市 ～黒川郡大衡村	Ｓ４７	Ｈ２２	300	全線完成４車線供用　L=1.3km 改良、舗装、橋梁工事	
道路	直轄	国道４号　田高交差点改良	名取市	Ｈ１８	Ｈ２２	135	事業完 用地補償、改良、舗装工事	
道路	直轄	国道４８号　作並線形改良	仙台市	Ｈ１９	Ｈ２２	552	事業完 改良、舗装工事	32
道路	補助	(主)築館登米線 みやぎ県北高速幹線道路	栗原市～登米市	Ｈ７	Ｈ２２	700	部分暫定２車線供用　L=2.3km 改良、舗装工事	
営繕	直轄	仙台第３地方合同庁舎	仙台市	Ｈ２２	Ｈ２２	80	火災報知器設備改修	
■継続								
河川	直轄	鳴瀬川　鳴瀬川中流部緊急対策特定区間堤防整備	東松島市、 遠田郡美里町、大崎市	Ｈ１５	Ｈ２４	1765	築堤１式 用地補償	31
河川	直轄	北上川下流　日根牛地区河川改修事業	登米市	Ｈ２０	Ｈ２０年代 後半	218	用地補償	
河川	直轄	北上川下流　横川地区河川改修事業	石巻市	Ｈ２１	Ｈ２０年代 後半	164	築堤１式 用地補償	
河川 （海岸）	直轄	仙台湾南部海岸 海岸保全施設整備事業　S5号ヘッドランド	亘理郡山元町	Ｈ２１	Ｈ２４	731	ヘッドランドN=1基	31
河川 （砂防）	直轄	栗駒山系　特定緊急砂防事業 湯浜砂防堰堤	栗原市	Ｈ２１	Ｈ２５	471	砂防堰堤N=1基	
道路	直轄	国道４号　金ヶ瀬拡幅	刈田郡蔵王町 ～柴田郡大河原町	Ｈ１６	－	530	用地補償	
道路	直轄	国道４号　長町拡幅	仙台市	Ｈ１３	－	160	電線共同溝工事	
道路	直轄	国道４号　仙台拡幅	仙台市	Ｈ１	－	210	用地補償	
道路	直轄	国道４号　三本木古川拡幅	黒川郡大衡村 ～大崎市	Ｓ４１	－	180	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道４号　築館バイパス	栗原市	Ｓ５８	－	239	用地補償	
道路	直轄	国道６号　仙台東部道路（仙台港ＩＣ）	仙台市	Ｓ６１	－	645	改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道４５号　坂下拡幅	仙台市	Ｓ４７	－	179	用地補償、電線共同溝工事	
道路	直轄	国道４５号　矢本石巻道路	東松島市～石巻市	Ｓ６０	－	600	改良、舗装工事	
道路	直轄	国道４５号　桃生登米道路	石巻市～登米市	Ｈ５	－	75	調査・設計	
道路	直轄	国道４５号　登米志津川道路	登米市～ 本吉郡南三陸町	Ｈ６	－	1,339	用地補償 改良工事	
道路	直轄	国道４５号　南三陸道路	本吉郡南三陸町	Ｈ２０	－	340	調査・設計	
道路	直轄	国道４５号　本吉気仙沼道路	気仙沼市	Ｈ１７	－	1,288	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道４７号　仙台北部道路	宮城郡利府町 ～黒川郡富谷町	Ｈ５	－	325	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道１０８号　古川東バイパス	大崎市	Ｈ２	－	700	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道１０８号　花渕山バイパス	大崎市	Ｈ２０	－	630	トンネル工事	
道路	直轄	国道１１５号　阿武隈東道路	伊具郡丸森町	Ｈ１６	－	194	用地補償、 橋梁、トンネル工事	
道路	直轄	国道６号　長瀞歩道整備事業	亘理郡亘理町	Ｈ２０	Ｈ２３	108	改良工事	

※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	Ｈ２２事業内容	頁
道路	直轄	国道４７号　下野目歩道整備事業	大崎市	Ｈ２１	Ｈ２３	99	用地補償、改良工事	
港湾	直轄	石巻港雲雀野地区 多目的国際ターミナル整備事業	石巻市	Ｓ５８	Ｈ２７	748	地盤改良工	
港湾	直轄	仙台塩釜港仙台港区中野地区 複合一貫輸送ﾀｰﾐﾅﾙ改良（耐震）事業	仙台市	Ｈ２１	Ｈ２６	1,442	岸壁改良工、浚渫工	8
空港	直轄	仙台空港　耐震化整備事業	名取市、岩沼市	Ｈ２０	Ｈ２９	493	地盤改良工	32
都市住宅	直轄	国営みちのく杜の湖畔公園整備事業	柴田郡川崎町	Ｓ５６	Ｈ２５ （Ｈ２３部分供用）	558	みちのく自然共生園整備	33

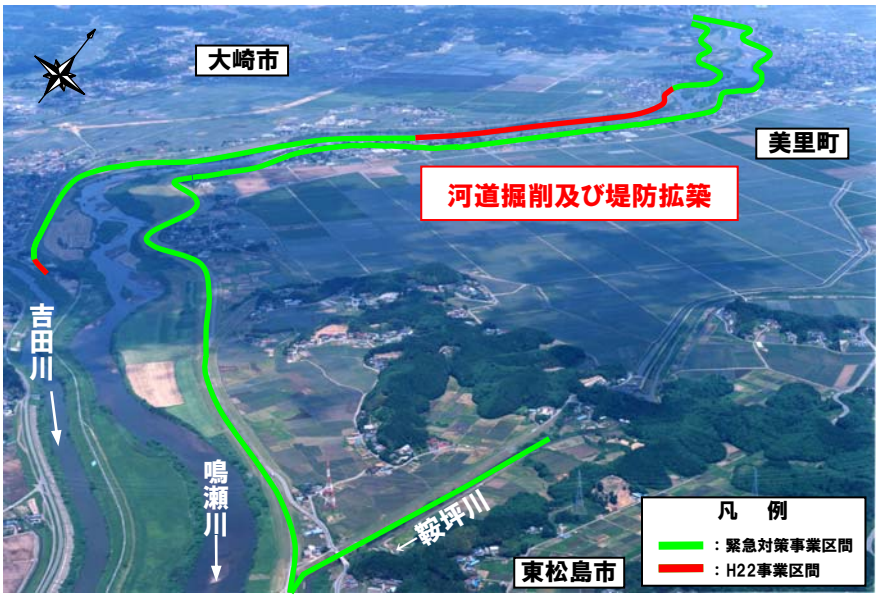
※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

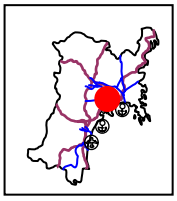
継続

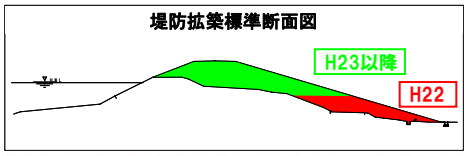
［東松島市、遠田郡美里町、大崎市］

鳴瀬川　鳴瀬川中流部緊急対策特定区間堤防整備（H15～H24）

・洪水時の流下能力が不足している鳴瀬川中流部において、河道掘削及び堤防整備を推進し、治水安全度の向上を図ります。
・H22年度工事関係費：1，765百万円
・H22年度は、河道掘削、築堤等を整備します。



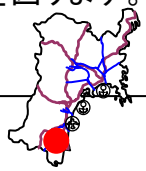


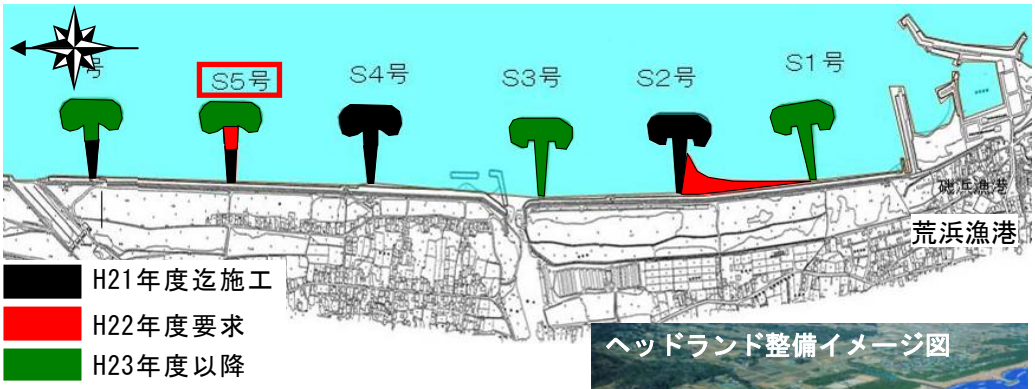


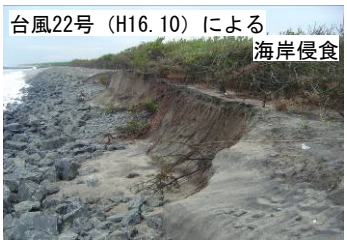
継続

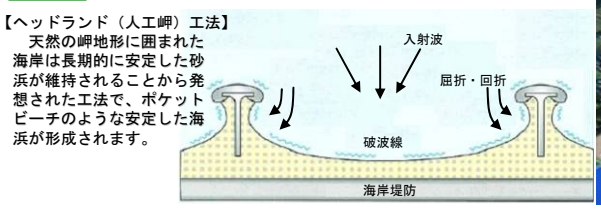
［亘理郡山元町］ 仙台湾南部海岸 海岸保全施設整備事業 S5号ヘッドランド （H21～H24）

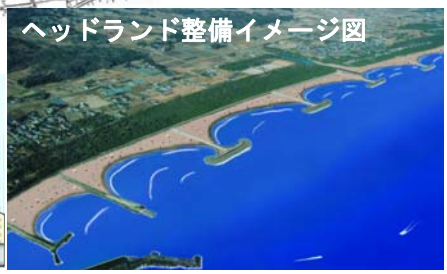
・海岸の侵食・越波対策のため、ヘッドランド等の海岸保全施設を整備し、砂浜の維持・回復により、海岸保全施設の防護・越波による浸水被害の解消・海岸環境の保護・海岸空間の利用を図ります。
・H22年度工事関係費：731百万円
・H22年度は、ヘッドランド等を実施します。

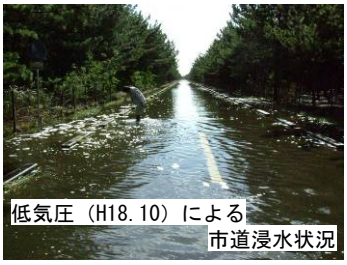










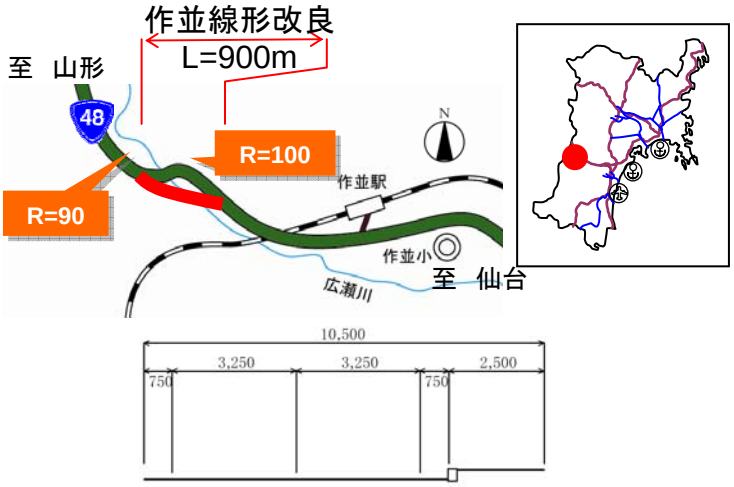


供用

［宮城県（仙台市）］（直轄）**国道48号　作並線形改良**（H19～H22）

・山地部の線形不良区間の安全で円滑な交通の確保のため、線形改良を実施し、ドライバーの負担軽減が図られます。
・H22年度工事関係費：552百万円
・H22年度は、事業完成に向けて改良及び舗装工事を実施します。

▲線形不良区間の状況



▲計画横断図

継続

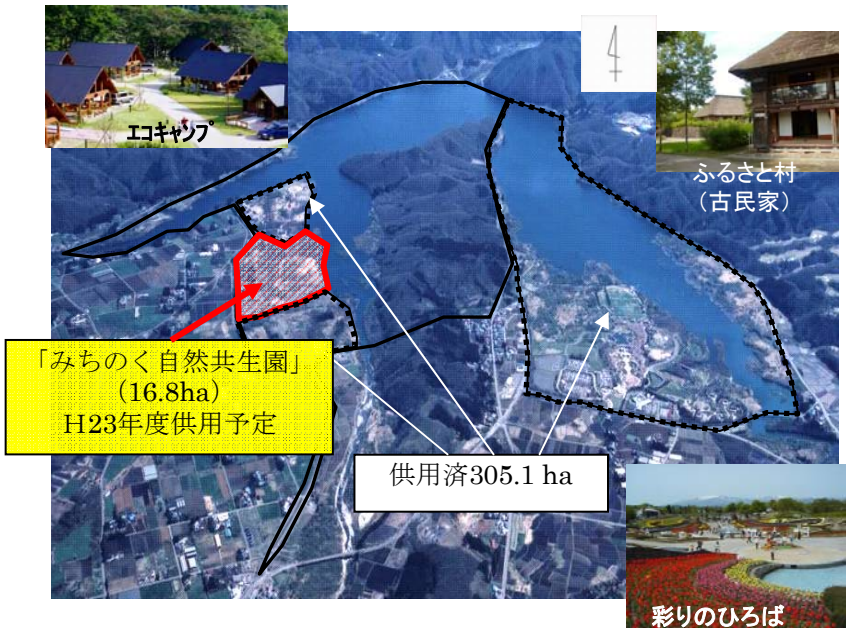
［名取市、岩沼市］　**仙台空港　耐震化整備事業**　（H20～H29）

・滑走路・誘導路の耐震化を行い、災害時における空港機能の確保し、緊急物資輸送・背後圏経済活動の継続性を確保します。
・H22年度工事関係費：493百万円
・H22年度は、地盤改良工事等を実施します。

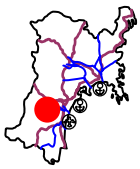
継続

［柴田郡川崎町］　**国営みちのく杜の湖畔公園整備事業**（S56～H25（H23部分供用））

・みちのく文化継承のため、美しい里地風景を再現し、里地文化の知恵を体験する“場”の整備を推進します。
・H22年度工事関係費：558百万円
・H22年度は、「みちのく自然共生園」の整備を完了し、H23年度より供用開始を目指します。



【みちのく自然共生園整備イメージ】



(4)秋田県

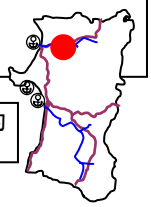
事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	H22事業内容	頁
■完成・供用								
河川	直轄	米代川　河川災害復旧等関連緊急事業	能代市	Ｈ１９	Ｈ２２	929	河道掘削V=240千m3 輪中堤L=200m	16
河川	直轄	雄物川上流　湯沢統合堰改築事業	湯沢市	Ｈ１８	Ｈ２２	895	河道掘削１式 護岸工１式 旧施設撤去１式	
河川（砂防）	直轄	八幡平山系 火山砂防事業　蟹沢第一砂防堰堤	仙北市	Ｈ１８	Ｈ２２	212	砂防堰堤N=1基	
河川（ダム）	補助	砂小沢ダム建設事業	鹿角郡小坂町	Ｈ４	Ｈ２２	113	周辺環境整備工 試験湛水等	35
道路	直轄	国道４６号　角館バイパス	仙北市	Ｈ９	Ｈ２２	745	部分暫定２車線供用　L=2.0km 用地補償、改良、舗装、橋梁工事	9
道路	直轄	国道１３号　神宮寺バイパス	大仙市	Ｈ１０	Ｈ２２	360	部分暫定２車線供用　L=2.2km 用地補償、舗装工事	36
道路	直轄	国道４６号　卒田荒町歩道整備事業	仙北市	Ｈ１８	Ｈ２２	75	事業完　L=700m 用地補償、改良、舗装工事	
■継続								
河川	直轄	子吉川　石脇地区河道掘削事業	由利本荘市	Ｈ１５	Ｈ２０年代前半	104	用地補償	
河川	直轄	大曲地区かわまちづくり	大仙市	Ｈ１９	Ｈ２３	62	管理用通路、管理用階段等	
河川（ダム）	直轄	森吉山ダム建設事業	北秋田市	Ｓ６１	Ｈ２３	1,426	試験湛水 取水放流設備工事等	35
河川（ダム）	直轄	成瀬ダム建設事業	雄勝郡東成瀬村	Ｈ９	Ｈ２９	2,265	転流工工事 付替道路工事等	
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 大館北～小坂	大館市 ～鹿角郡小坂町	Ｈ１０	－	2,900	改良、トンネル工事	
道路	直轄	国道７号　象潟仁賀保道路	にかほ市	Ｈ１７	－	3,600	用地補償 改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道７号仁賀保本荘道路	にかほ市 ～由利本荘市	Ｈ１２	－	210	改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道７号　下浜道路	秋田市	Ｈ１９	－	750	調査設計 用地補償	
道路	直轄	国道７号　秋田南バイパス	秋田市	Ｈ２０	－	160	舗装工事	
道路	直轄	国道７号　鷹巣大館道路（Ⅱ期）	北秋田市	Ｈ１９	－	300	用地補償	
道路	直轄	国道７号　鷹巣大館道路	北秋田市～大館市	Ｈ１７	－	3,672	改良、トンネル工事	
道路	直轄	国道７号　大館西道路	大館市	Ｓ５７	Ｈ２３	1,150	改良、舗装工事	
道路	直轄	国道１３号　院内道路	湯沢市	Ｈ１５	－	1,300	用地補償 改良、橋梁、トンネル工事	
道路	直轄	国道１３号　河辺拡幅	秋田市	Ｈ３	－	155	改良工事	
道路	直轄	国道７号　土崎港地区電線共同溝	秋田市	Ｈ１８	Ｈ２４	52	電線共同溝	
道路	直轄	国道７号　土崎歩道整備事業	秋田市	Ｈ１７	Ｈ２３	54	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道７号　陣場視距改良	大館市	Ｈ１８	Ｈ２４	453	改良、橋梁工事	
港湾	直轄	能代港外港地区　防波堤整備事業	能代市	Ｈ１２	Ｈ２８	234	本体工（ｹｰｿﾝ製作1函）	
港湾	直轄	秋田港外港地区　防波堤整備事業	秋田市	Ｈ３	Ｈ３１	1,066	本体工（ｹｰｿﾝ製作2函）	36
港湾	補助	秋田港飯島地区 国内物流ターミナル整備事業	秋田市	Ｈ２０	Ｈ２３	120	本体工（本体ﾌﾞﾛｯｸ製作）、基礎工	37

※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

継続

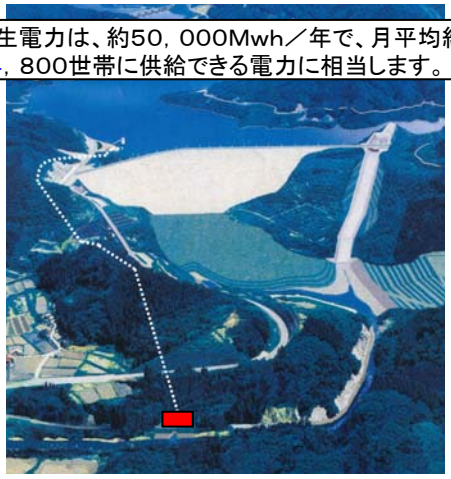
［北秋田市］ 森吉山ダム建設事業 （S61～H23）

・森吉山ダムが整備されると、洪水調節、かんがい用水の補給、水道用水の供給だけでなく、ダムに貯留された水により月平均約14,800世帯に供給できる電力に相当する水力発電ができます。
・H22年度工事関係費：1，426百万円
・H22年度は、取水放流設備工事、試験湛水等を実施します。



森吉山ダム諸元	
水系名	米代川水系
河川名	小又川
位置	秋田県北秋田市
流域面積	248.0km^2
ダム型式	ロックフィル
ダム高	89.9m
堤頂長	786.0m
総貯水容量	78,100千m^3
有効貯水容量	68,100千m^3

発生電力は、約50，000Mwh／年で、月平均約14，800世帯に供給できる電力に相当します。



▲森吉発電所（東北電力（株））

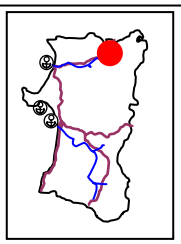
完成

［秋田県（鹿角郡小坂町）］（補助）砂子沢ダム建設事業 （H4～H22）

・ダムの完成により、洪水被害・渇水被害の軽減、水道用水の安定供給が図られます。
・H22年度事業費：113百万円
・H22年度は、事業完成に向けて周辺環境設備工等を実施します。

砂子沢ダム諸元	
水系名	米代川水系
河川名	砂子沢川
位置	秋田県鹿角郡小坂町
流域面積	17.0km^2
ダム型式	重力式コンクリート
ダム高	78.5m
堤頂長	185.0m
総貯水容量	8,650千m^3
有効貯水容量	7,630千m^3

▲砂子沢ダム完成予想図



事業効果

○小坂町沿川の洪水防御

○美しい川の環境を守るため安定した流量を維持

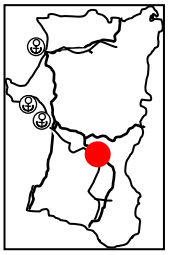
○水道用水の安定供給
小坂町へ 2,600 m^3／日
鹿角市へ 2,000 m^3／日

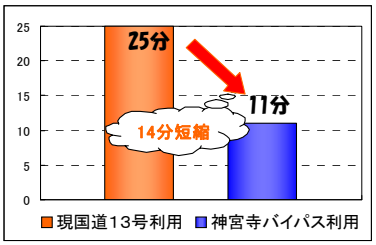
供用

［大仙市］ 国道13号 神宮寺バイパス （H10～H22（部分暫定2車線供用））

・大仙市内の都市部と農村部の連携を支援するため、神宮寺地区を迂回するバイパスを整備し、道路の渋滞緩和や冬期交通の安全確保が図られます。
・H22年度工事関係費：360百万円
・H22年度は、2.2km区間の部分暫定2車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。

▲冬期の通学状況



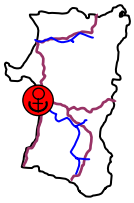


▲神宮寺バイパスの通過時間
（※神宮寺バイパス全線開通した場合）

継続

［秋田市］ 秋田港外港地区 防波堤整備事業 （H3～H31）

・防波堤整備により、港内の静穏度を確保し安全な船舶の入出港と安定的な荷役を確保します。
・H22年度工事関係費：1,066百万円
・H22年度は、本体工（ケーソン製作2函）等を実施します。

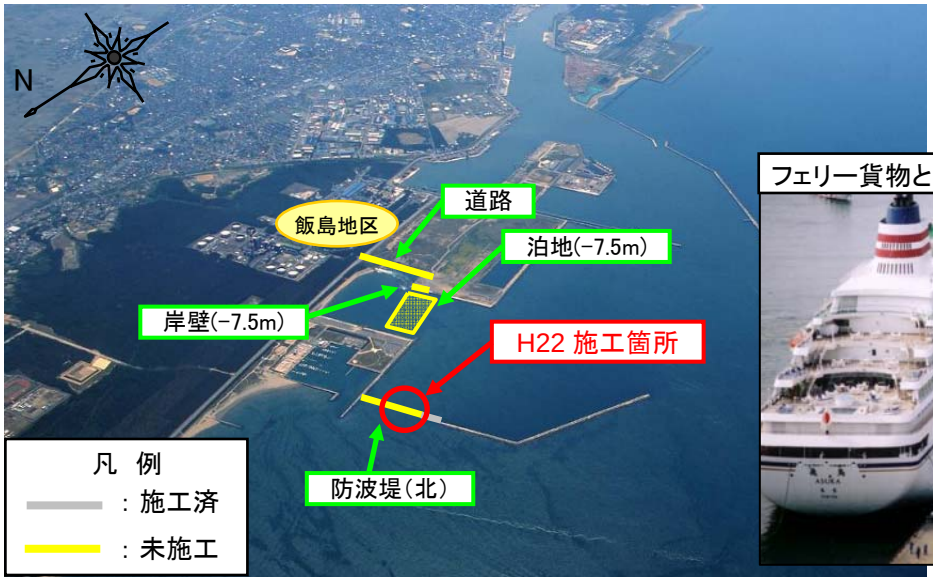


秋田港コンテナ船荷役状況

継続

［秋田市］（補助） 秋田港飯島地区　国内物流ターミナル整備事業 （H20～H23）

・国内物流ターミナル整備によって、増加するフェリー貨物とばら貨物の混在を解消し、安全で効率的な物流機能の確保します。
・H22年度工事関係費：120百万円
・H22年度は、本体工（本体ブロック製作）等を実施します。



(5)山形県

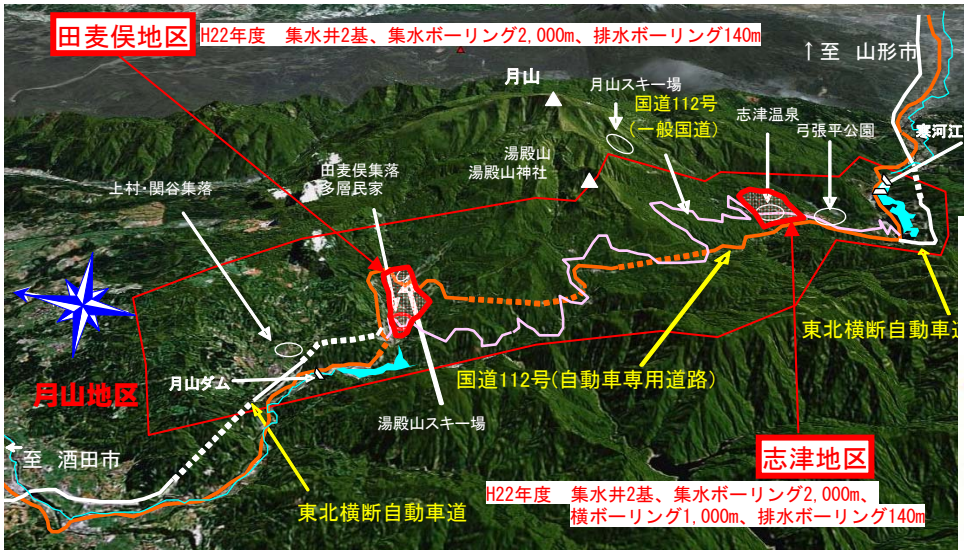
事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	H22事業内容	頁
■完成・供用								
河川	直轄	最上川中流　岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業	北村山郡大石田町	Ｈ１９	Ｈ２２	148	機械設備等	39
河川（ダム）	直轄	長井ダム建設事業	長井市	Ｓ５９	Ｈ２２	1,951	試験湛水 仮排水路閉塞工事等	11
河川（砂防）	直轄	最上川水系　火山砂防事業 濁沢第七砂防堰堤	東田川郡庄内町	Ｈ１９	Ｈ２２	152	砂防堰堤N=1基	
道路	直轄	国道１３号　新庄北道路	新庄市	Ｈ１２	Ｈ２２	300	全線暫定２車線供用　L=4.7km 舗装工事	10
道路	直轄	国道１３号　上山バイパス	南陽市～上山市	Ｓ５４	Ｈ２２	300	全線暫定２車線供用　L=5.5km 舗装工事	40
道路	直轄	国道１３号　名木沢歩道整備事業	尾花沢市	Ｈ１６	Ｈ２２	81	事業完　L=1,600m 改良、舗装工事	
道路	直轄	国道１３号　長岡交差点改良	南陽市	Ｈ２０	Ｈ２２	102	事業完 改良、舗装工事	
■継続								
河川	直轄	最上川中流　皿島地区河川改修事業	最上郡戸沢村	Ｈ２０	Ｈ２０年代後半	370	排水樋管１基	
河川	直轄	赤川　中流部河川改修事業	東田川郡三川町	Ｈ１５	Ｈ２０年代前半	243	河道掘削１式 用地補償	
河川（砂防）	直轄	月山地区地すべり対策事業	西村山郡西川町、鶴岡市	Ｈ２１	－	629	集水井工N=4基	39
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 温海～鶴岡	鶴岡市	Ｈ９	Ｈ２３	13,480	改良、橋梁、トンネル、舗装工事	
道路	直轄	日本海沿岸東北自動車道 酒田みなと～遊佐	酒田市 ～飽海郡遊佐町	Ｈ２１	－	305	調査・設計	
道路	直轄	東北中央自動車道 福島～米沢	米沢市	Ｈ１０	－	1,805	トンネル工事	
道路	直轄	東北中央自動車道 米沢～米沢北	米沢市	Ｈ１５	－	2,250	用地補償、改良工事	
道路	直轄	東北中央自動車道 東根～尾花沢	東根市 ～尾花沢市	Ｈ１０	－	2,607	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道７号　温海地区防災	鶴岡市	Ｈ４	－	300	防災対策工事	
道路	直轄	国道７号　鶴岡バイパス	鶴岡市	Ｈ２０	Ｈ２３	1,446	改良、橋梁、舗装工事	
道路	直轄	国道１３号　米沢拡幅	米沢市	Ｈ１１	－	500	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道１３号　大野目交差点改良	山形市	Ｈ１６	－	1,200	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道１３号　尾花沢新庄道路	尾花沢市 ～新庄市	Ｓ６１	－	710	橋梁工事	
道路	直轄	国道４７号　新庄古口道路	新庄市 ～最上郡戸沢村	Ｈ１７	－	2,000	用地補償、 改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道４７号　高屋道路	最上郡戸沢村	Ｈ１８	－	159	用地補償	
道路	直轄	国道４７号　余目酒田道路	東田川郡庄内町 ～酒田市	Ｈ１６	－	2,600	用地補償、 改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道１１２号　霞城改良	山形市	Ｈ１４	－	1,501	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道１１２号　月山防災	西村山郡西川町 ～鶴岡市	Ｓ５７	－	250	防災対策工事	
道路	直轄	国道１１２号　鶴岡北改良	鶴岡市	Ｈ１５	Ｈ２３	1,420	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道１１３号　梨郷道路	長井市～南陽市	Ｈ２０	－	100	調査・設計	
道路	直轄	国道４７号　向町歩道整備事業	最上郡最上町	Ｈ２０	Ｈ２０年代後半	54	用地補償	
道路	直轄	国道１１２号　茅原交差点改良	鶴岡市	Ｈ２１	Ｈ２０年代後半	36	改良工事	
港湾	直轄	酒田港本港・北港地区　防波堤整備事業	酒田市	Ｓ５３	Ｈ３１	518	本体工（ｹｰｿﾝ据付2函）	41
港湾	直轄	酒田港北港地区 国内物流ターミナル（耐震）整備事業	酒田市	Ｈ８	Ｈ２３	153	浚渫工	41

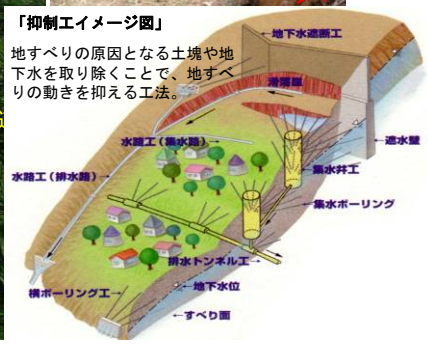
※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

継続

［西村山郡西川町、鶴岡市］ 月山地区地すべり対策事業 （H21～）

・地すべり災害を防止するため、集水井工等の対策工を整備し、住民の安全・安心な生活を保全します。
・H22年度工事関係費：629百万円
・H22年度は、集水井工（2基）等を実施します。

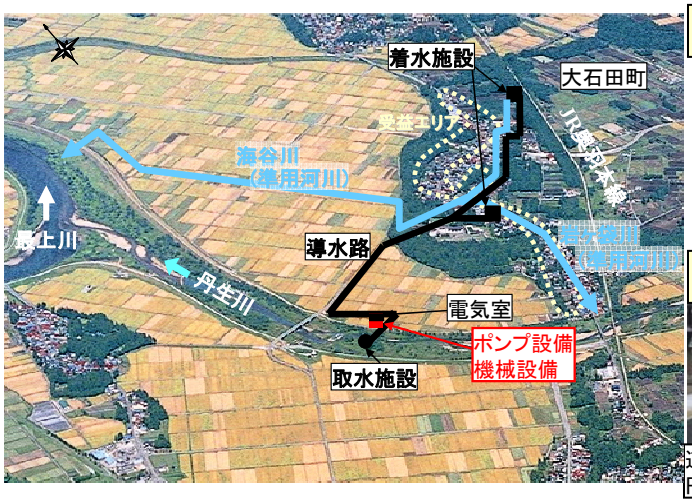


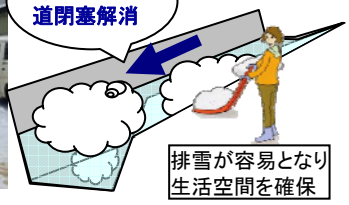


完成

［北村山郡大石田町］ 最上川中流 岩ヶ袋地区消流雪用水導入事業 （H19～H22）

・消流雪用水を導入するための施設整備を行い、安全で快適な雪国の生活を支援します。
・H22年度工事関係費：148百万円
・H22年度は、事業完成に向けて機械設備の整備等を行います。





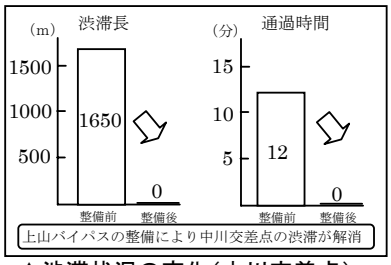
供用

［南陽市～上山市］ 国道13号 上山バイパス （S54～H22（全線暫定2車線供用））

・上山市中川地区の慢性的な渋滞解消のため、市街地を迂回するバイパスを整備し、移動時間が短縮されます。
・H22年度工事関係費：300百万円
・H22年度は、全線暫定2車線供用に向けて、舗装工事等を実施します。

▲中川交差点の渋滞状況

▲整備が進む上山バイパス（南陽市から上山市方向を望む）



▲渋滞状況の変化（中川交差点）

継続

［酒田市］ 酒田港本港地区・北港地区　防波堤整備事業 （S53～H31）

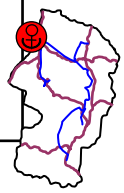
・防波堤整備により、港内の静穏度を確保し、安全な船舶の入出港と安定的な荷役・避泊水域創出による航行船舶の安全を確保します。
・H22年度工事関係費：518百万円
・H22年度は、本体工（ケーソン据付2函）等を実施します。

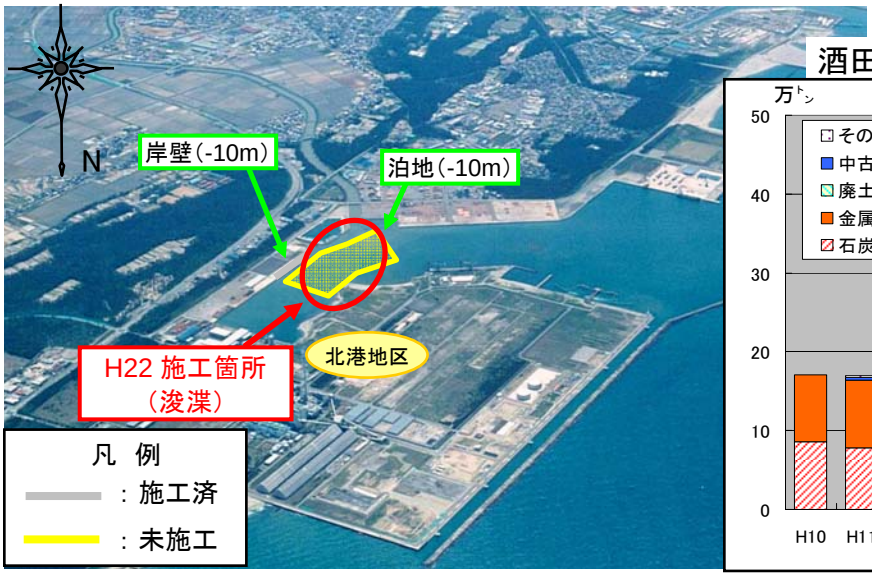
※避泊水域とは、荒天時などに船舶が安全に避難・停泊する場所

継続

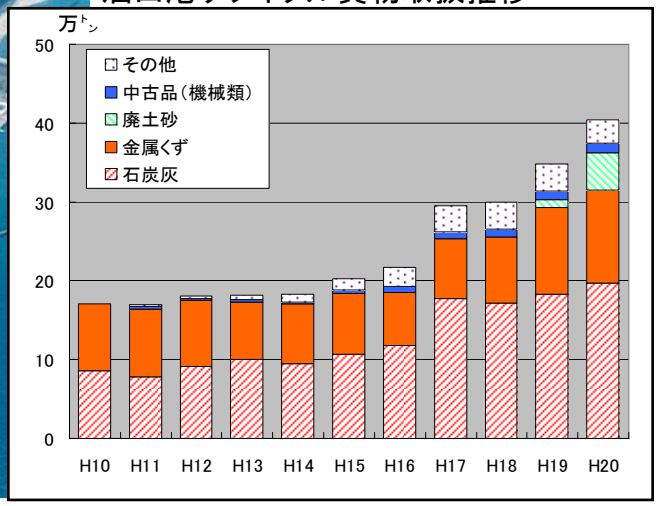
［酒田市］ 酒田港北港地区　国内物流ターミナル（耐震）整備事業 （H8～H23）

・国内物流ターミナル整備により、リサイクル貨物の増加に対応し、効率的な貨物輸送を確保します。
・H22年度工事関係費：153百万円
・H22年度は、浚渫工を実施します。

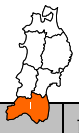




酒田港リサイクル貨物取扱推移



(6)福島県



事業区分		事業名	市町村名	事業着手年度	完成･供用目標年度	H22配分額（百万円）	H22事業内容	頁
■完成・供用								
河川（砂防）	直轄	阿武隈川水系　火山砂防事業 須川第二砂防堰堤	福島市	Ｈ１８	Ｈ２２	150	砂防堰堤N=1基	17
道路	直轄	国道４９号　平バイパス	いわき市	Ｓ５６	Ｈ２２	900	部分完成４車線供用　L=0.8km 橋梁、舗装工事	44
道路	直轄	国道４９号　三和トンネル	いわき市	Ｈ１６	Ｈ２２	650	全線完成２車線供用　L=1.7km トンネル設備、舗装工事	12
道路	直轄	国道６号　御城前交差点改良	いわき市	Ｈ１７	Ｈ２２	33	事業完 改良、舗装工事	44
道路	補助	(主)矢吹小野線　福島空港・あぶくま南道路	西白河郡矢吹町 ～田村郡小野町	Ｈ６	Ｈ２２	1,440	全線２車線供用　L=6.9km 改良、舗装工事	
営繕	直轄	福島地方合同庁舎	福島市	Ｈ２２	Ｈ２２	48	エレベーター設備改修	45
■継続								
河川	直轄	福島荒川地区かわまちづくり	福島市	Ｈ１９	Ｈ２５	44	えん堤横断施設等	43
河川	直轄	阿武隈川上流 二本松・安達地区土地利用一体型水防災事業	二本松市	Ｈ２１	Ｈ２５	789	築堤L=400m 排水樋門３基 用地補償	
河川	直轄	阿武隈川上流　本宮地区河川改修事業	本宮市	Ｈ１７	Ｈ２０年代 後半	315	水路工 用地補償	43
道路	直轄	東北中央自動車道　福島～米沢	福島市～ 米沢市（山形県）	Ｈ１０	－	5,100	改良、橋梁、トンネル工事	
道路	直轄	国道４号　白河拡幅	西白河郡西郷村 ～白河市	Ｓ４８	－	763	用地補償、 改良、橋梁、舗装工事	
道路	直轄	国道４号　鏡石拡幅	岩瀬郡鏡石町	Ｈ１５	－	1,021	用地補償、改良工事	
道路	直轄	国道４号　伊達拡幅	伊達市 ～伊達郡国見町	Ｓ５６	－	600	用地補償、 改良、舗装工事	
道路	直轄	国道６号　常磐バイパス	いわき市	Ｓ４１	－	454	橋梁工事	
道路	直轄	国道６号　久之浜バイパス	いわき市	Ｈ１	－	552	用地補償、橋梁工事	
道路	直轄	国道４９号　猪苗代拡幅	耶麻郡猪苗代町	Ｓ６３	－	100	調査設計 用地補償	
道路	直轄	国道１１５号　阿武隈東道路	相馬市	Ｈ１６	－	4,431	用地補償、 トンネル、橋梁工事	
道路	直轄	国道１１５号　霊山道路	伊達市	Ｈ２０	－	250	調査設計 用地補償	
道路	直轄	国道１２１号　会津縦貫北道路	喜多方市～ 会津若松市	Ｈ９	Ｈ２３	3,131	改良、橋梁工事	
道路	直轄	国道１３号　信夫大橋歩道整備事業	福島市	Ｈ２１	Ｈ２４	117	橋梁工事	
道路	直轄	国道４９号　遅沢地区歩道整備事業	石川郡平田村	Ｈ１８	Ｈ２３	189	用地補償、改良工事	
港湾	直轄	相馬港３号ふ頭地区 多目的国際ターミナル（耐震）整備事業	相馬市、新地町	Ｓ６１	Ｈ２５	347	本体工（ｹｰｿﾝ据付1函）	
港湾	直轄	小名浜港東港地区 多目的国際ターミナル整備事業	いわき市	Ｈ２０	Ｈ２５	2,421	臨港道路下部工	45

※直轄の配分額は、業務取扱費を除く金額（工事関係費）で記載

継続

［福島市］ 福島荒川地区かわまちづくり（H19～H25）

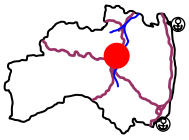
・管理用通路等、河川管理施設の整備を通じて、荒川の美しく豊かな自然環境や歴史的構造物（選奨土木遺産など）と安全にふれあえる場を創出します。
・H22年度工事関係費：44百万円
・H22年度は、えん堤横断施設等の整備を実施します。

H20整備箇所

継続

［本宮市］ 阿武隈川上流　本宮地区河川改修事業（H17～H20年代後半）

・近年、洪水による浸水被害が発生している本宮地区において、堤防等の整備を推進し、洪水による浸水被害の軽減を図ります。
・H22年度工事関係費：315百万円
・H22年度は、堤防整備のために必要となる用地取得及び補償等を実施します。



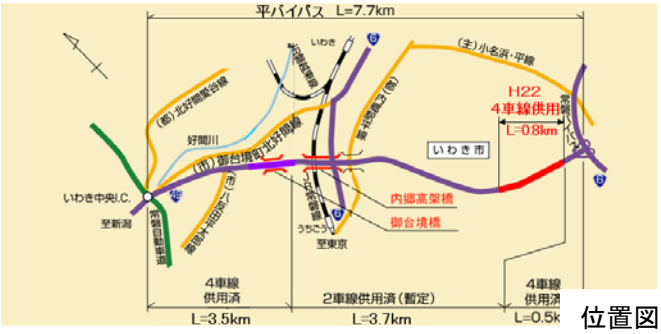
▲平成10年8月前線洪水

▲平成14年7月台風6号洪水

供用

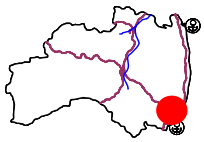
［いわき市］ 国道6号 平(たいら)バイパス (S56～H22(部分完成4車線供用))

・いわき市平市街地の交通渋滞の解消及び沿道道路環境の改善のため、バイパスを整備し、移動時間が短縮されるとともに、平市街地及び重要港湾小名浜港と常磐自動車道いわき中央IC（好間工業団地）のアクセス機能強化が図られます。
・H22年度工事関係費：900百万円
・H22年度は、上荒川地区L=0.8kmの部分供用（完成4車線化）を図り、橋梁及び舗装工事を実施します。

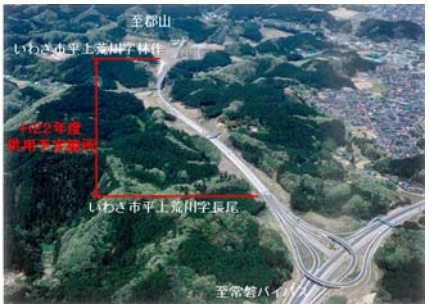


位置図

▲内郷地区の渋滞状況



▲平バイパス全線4車線化完成後の効果



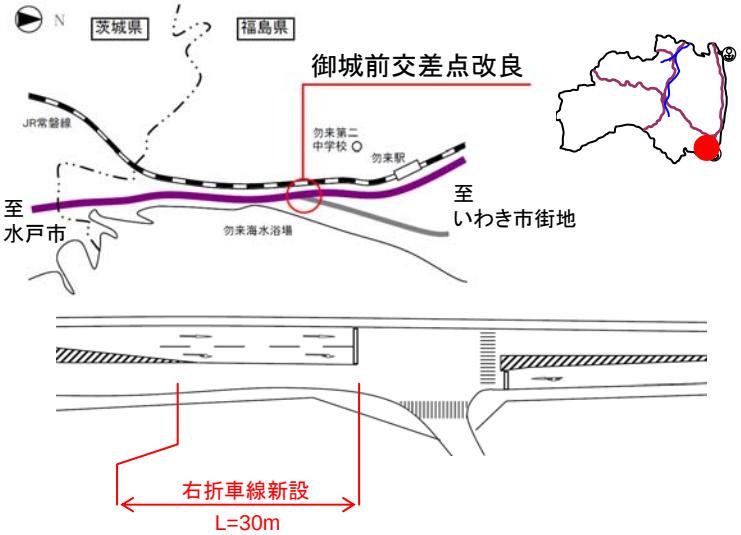
▲供用箇所の全景

供用

［いわき市］ 国道6号 御城前(みじょうまえ)交差点改良（H17～H22）

・右折車線がなく、追突事故が多発している交差点の安全確保のため、右折車線の新設を実施します。
・H22年度工事関係費：33百万円
・H22年度は、事業完成に向けて改良・舗装工事を実施します。

▲交差点の状況

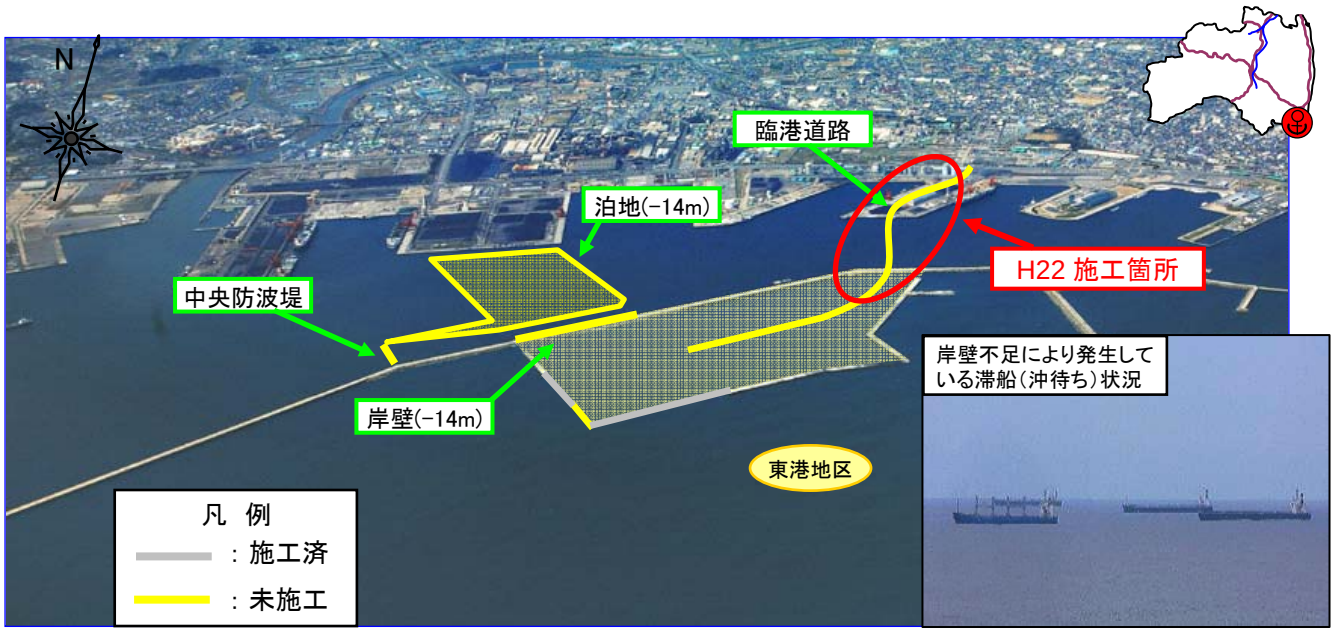


▲計画平面図

継続

［いわき市］ 小名浜港東港地区　多目的国際ターミナル整備事業 （H20～H25）

・多目的国際ターミナル整備により、電力需要を支える石炭等バルク貨物の増加へ対応するとともに、滞船（沖待ち）を解消し、効率的な貨物輸送を確保します。
・H22年度工事関係費：2,421百万円
・H22年度は、臨港道路下部工等を実施します。



完成

［福島市］ 福島地方合同庁舎　エレベーター設備改修 （H22）

・不具合箇所等の解消のため、エレベーター設備改修を行うものです。
・H22年度工事関係費：48百万円

▲ 福島地方合同庁舎

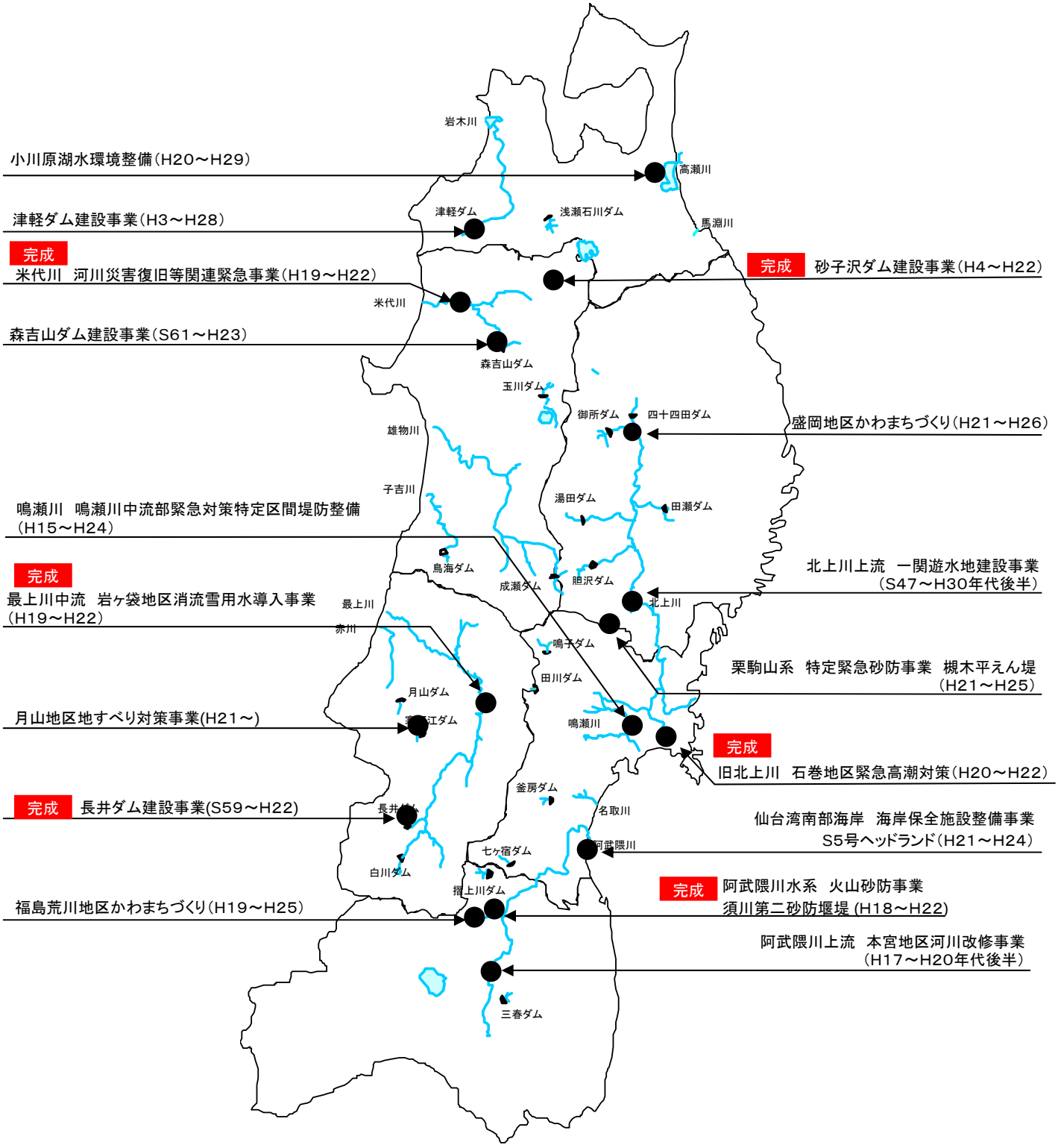
エレベーターの現状

着床位置のズレ状況

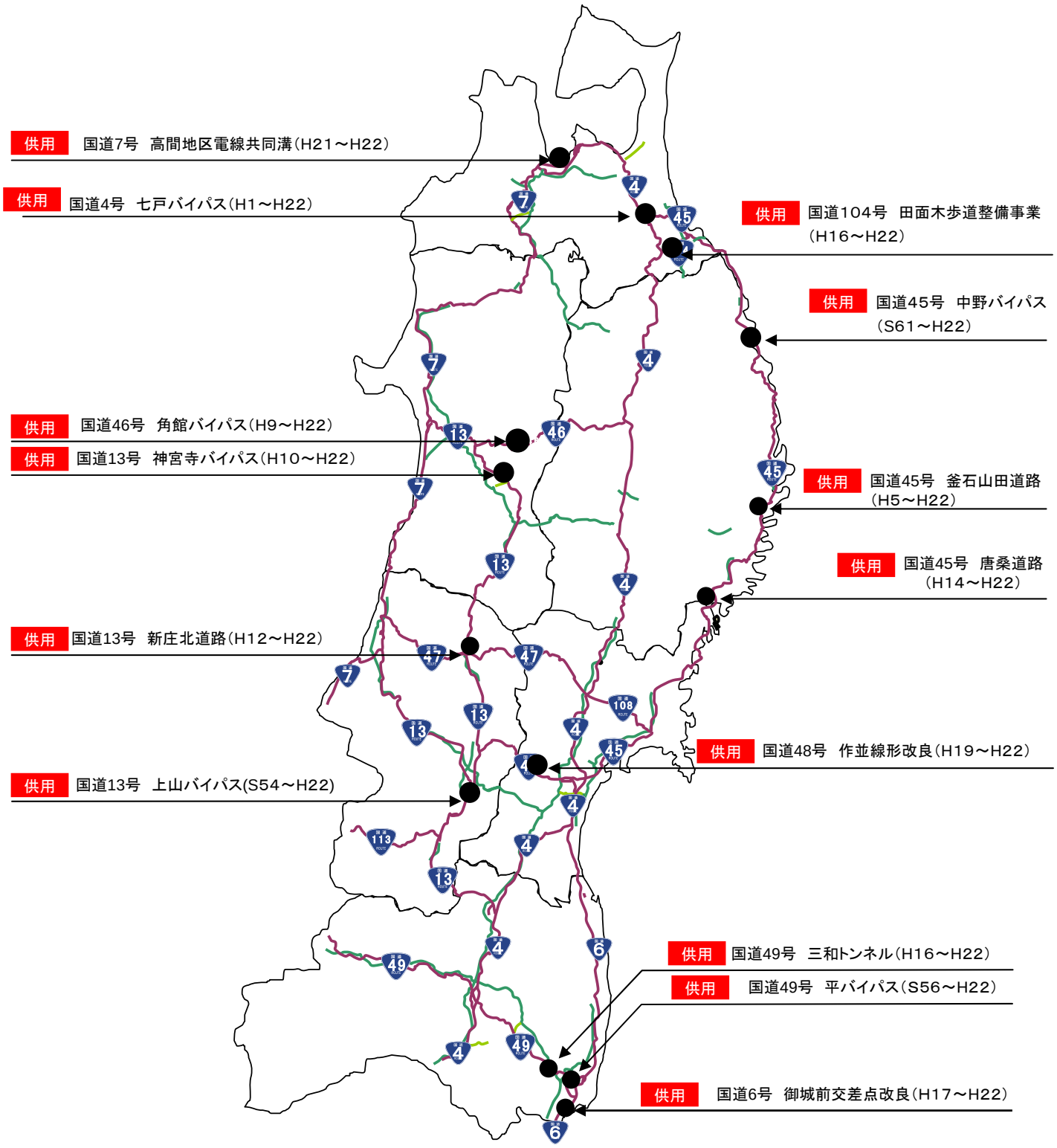
着床時の段差発生や閉じこめなど不具合の生じたエレベーター設備の改修を実施することにより、官庁施設の利用者の安全確保が図られます。

5. 代表事業位置図

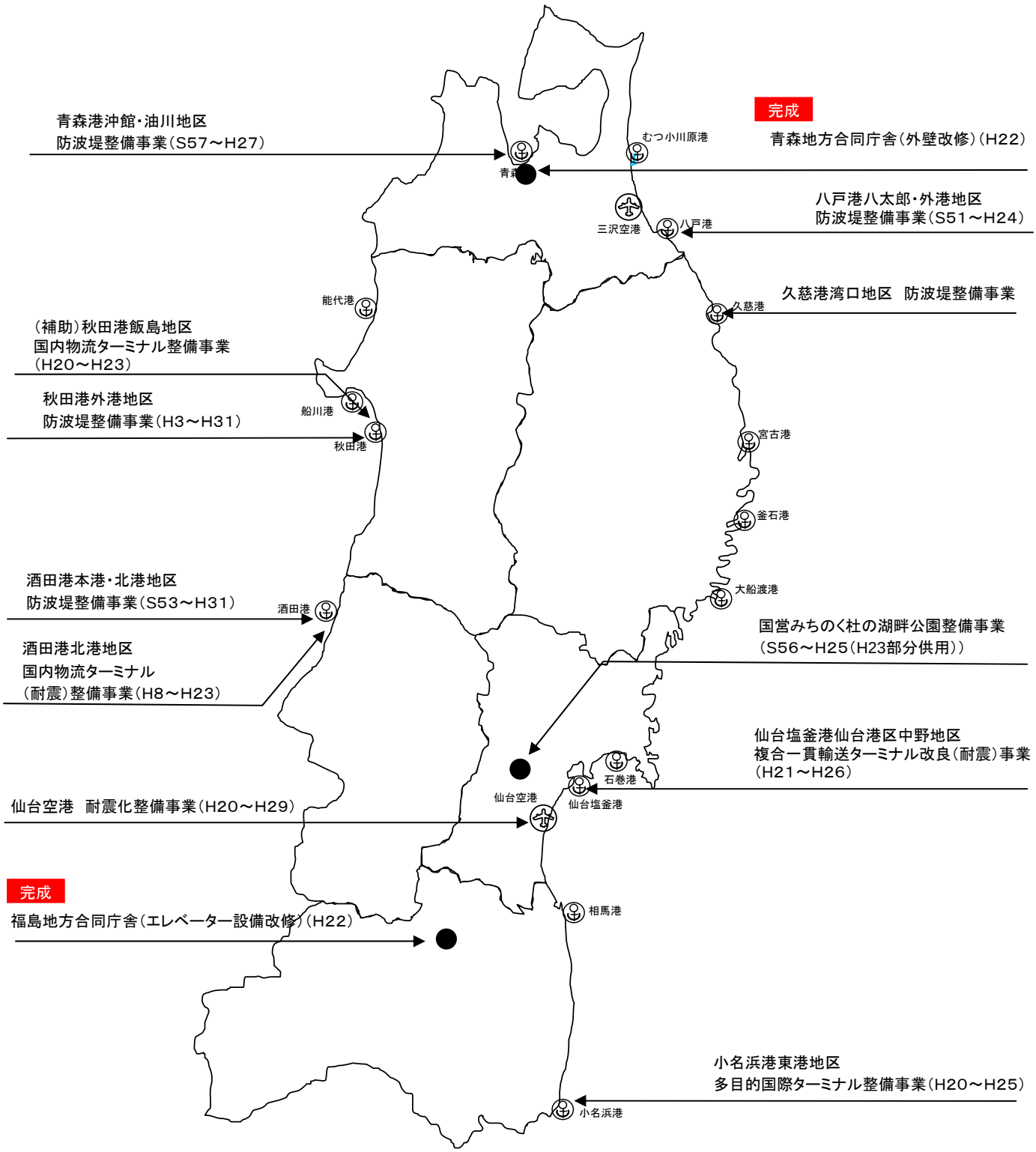
【河川関係】



【道路関係】


供用 国道7号 高間地区電線共同溝（H21～H22）
供用 国道4号 七戸バイパス（H1～H22）
供用 国道104号 田面木歩道整備事業（H16～H22）
供用 国道45号 中野バイパス（S61～H22）
供用 国道46号 角館バイパス（H9～H22）
供用 国道13号 神宮寺バイパス（H10～H22）
供用 国道45号 釜石山田道路（H5～H22）
供用 国道45号 唐桑道路（H14～H22）
供用 国道13号 新庄北道路（H12～H22）
供用 国道48号 作並線形改良（H19～H22）
供用 国道13号 上山バイパス(S54～H22)
供用 国道49号 三和トンネル（H16～H22）
供用 国道49号 平バイパス（S56～H22）
供用 国道6号 御城前交差点改良（H17～H22）

【港湾・空港、公園、営繕関係】


青森港沖館・油川地区
防波堤整備事業（S57～H27）
完成
青森地方合同庁舎（外壁改修）（H22）
むつ小川原港
青森
八戸港八太郎・外港地区
防波堤整備事業（S51～H24）
三沢空港
八戸港
久慈港湾口地区　防波堤整備事業
久慈港
能代港
（補助）秋田港飯島地区
国内物流ターミナル整備事業
（H20～H23）
秋田港外港地区
防波堤整備事業（H3～H31）
船川港
秋田港
宮古港
釜石港
大船渡港
酒田港本港・北港地区
防波堤整備事業（S53～H31）
酒田港
酒田港北港地区
国内物流ターミナル
（耐震）整備事業（H8～H23）
国営みちのく杜の湖畔公園整備事業
（S56～H25（H23部分供用））
仙台塩釜港仙台港区中野地区
複合一貫輸送ターミナル改良（耐震）事業
（H21～H26）
石巻港
仙台塩釜港
仙台空港
仙台空港　耐震化整備事業（H20～H29）
完成
福島地方合同庁舎（エレベーター設備改修）（H22）
相馬港
小名浜港東港地区
多目的国際ターミナル整備事業（H20～H25）
小名浜港

６．事業評価の実施

国土交通省では、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価を平成10年度から実施しています。平成14年4月からは、「行政機関が行う政策の評価に関する法律（行政評価法）」が施行されたことを受け、「国土交通省政策評価基本計画」が策定され、これに基づき実施しています。事業評価は、新規事業採択時評価・再評価・事後評価から構成されます。

１．平成22年度予算に向けた再評価

事業採択時から5年経過して未着工の事業、10年経過して継続中の事業等について再評価を行い、必要に応じて見直しを行うほか、事業の継続が適当と認められない場合には事業を中止するもの。平成10年度から導入。

事業採択後一定期間を経過した事業等を対象に、28事業について再評価を実施した結果、28事業が「継続」（うち1事業については「見直し継続」）となりました。

事業区分	実施箇所数						評価結果			
	5年未着工	10年継続中	準備計画5年	再々評価	その他	計	継続	うち見直し継続	中止	評価手続き中
河川事業	0	0	0	2	6	8	8	0	0	0
直轄事業	0	0	0	2	6	8	8	0	0	0
補助事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ダム事業	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0
直轄事業	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
補助事業	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
砂防事業等	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
直轄事業	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0
補助事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
海岸事業	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
直轄事業	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
補助事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
道路・街路事業	0	4	0	6	3	13	13	1	0	0
直轄事業	0	3	0	5	3	11	11	1	0	0
補助事業	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0
港湾整備事業	0	1	0	2	0	3	3	0	0	0
直轄事業	0	1	0	1	0	2	2	0	0	0
補助事業	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0
合計	0	6	0	12	10	28	28	1	0	0
直轄事業	0	5	0	9	10	24	24	1	0	0
補助事業	0	1	0	3	0	4	4	0	0	0

※1 「評価手続き中」とは、当該年度内中に評価結果を決定予定であり、現時点では決定していないもの。
又は、当該年度内中に評価結果を決定せず、対応を保留し適切な時期に評価を実施するもの。

※2 再評価対象基準
5年未着工：事業採択後一定期間（5年間）が経過した時点で未着工の事業

10年継続中：事業採択後長期間（10年間）が経過した時点で継続中の事業

準備計画5年：準備・計画段階で一定期間（5年間）が経過している事業
再々評価：再評価実施後一定期間（5又は10年間）が経過している事業
その他：社会経済情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要が生じた事業

2. 平成21年度に実施した事後評価

事業完了後に、事業の効果、環境への影響等の確認を行い、必要に応じて適切な改善措置、同種事業の計画・調査のあり方等を検討するもの。平成15年度から導入。

事業完了後一定期間が経過した事業等を対象に、6事業について事後評価を実施した結果、すべての事業が「対応なし（再度の事後評価や改善措置の必要がない）」となりました。

事業区分	事後評価実施箇所数				事後評価結果			
	5年以内	再事後評価	その他	計	再事後評価	改善措置	対応無し	評価手続き中
砂防事業（直轄事業）	1	0	0	1	0	0	1	0
砂防事業等（補助事業）	1	0	0	1	0	0	1	0
道路・街路事業（直轄事業）	2	0	0	2	0	0	2	0
道路・街路事業（補助事業）	1	0	0	1	0	0	1	0
港湾整備事業（直轄事業）	1	0	0	1	0	0	1	0
合計	6	0	0	6	0	0	6	0

※１　事後評価対象基準

５年以内：事業完了後一定期間（５年以内）が経過した事業

再事後評価：前回の事後評価の際、その後の時間の経過、改善措置の実施等により効果の発現が期待でき、改めて事後評価を行う必要があると判断した事業

その他：上記以外の理由で事後評価の実施の必要が生じた事業

※２　事後評価結果

再事後評価：事後評価の結果、再度事後評価の実施が必要な場合

改善措置：事後評価の結果、改善措置の実施が必要な場合

対応なし：事後評価の結果、再事後評価、改善措置が必要ない場合

3. 補足

各事業毎の評価書については、東北地方整備局のホームページ（公共事業の評価）で公表します。アドレスについては、次のとおりです。（http://www.thr.mlit.go.jp/）